

# 部屋とMacとWin

奮闘記

なんでん屋

## コンピューターとの出会い

---

学生時代、バカでかい部屋に1機のコンピューターがあった。

コンピューター言語はFORTRANで、ロト6のようなマークシートに書き込んで、パンチカードに打ち出していた。

打ち込んでいる数式は、電卓でできる程度のもの。

会社に入り、ずっとアナログ生活をしていた。

転機は、プレス部品の見積もりプログラムを修正したこと。

当時は、PC-8801のN88-BASICを使用していた。

その後、会社でMacintoshが導入された。

Macに惹かれたが、70万円もするので富士通のFM-TOWNSを購入。

それでも、本体とモニターとプリンターのセットで55万円。

当然ローンでした。

パソコン通信と音楽三昧とゲーム、MIDIで最初に作った曲は「ドラえもん」。

世間では、NECのPC-9801が全盛期。

エロゲーとコピーがまかり通っていた時代でした。

そして、ピザボックスタイプのMacintosh Quadra 660AVを購入。

しかし、ソフト代が高くて買えないため、使いこなせず。

それから、Windows95の発売。

EPSONのAT互換機を買って、インターネットを始める。

当時のインターネット創世期、制約はいっさいなく、何でも見放題でした。

制限が行われるようになったのは、Windows2000発売の頃でしょうか。

おそらく、インターネットつなぎ放題のプランができてからです。

自作機を何台も作って、自宅でLANを構築。

各部屋に1台ずつ設置し、自己満足。

Mac miniが発売されたので、とにかく買ってみた。

Windowsと使い勝手が違い、手をこまねきながら現在に至る。

## パソコンを使う目的

---

それは、パートナーが欲しいため。

ひとは、常にパートナーを求める。

出会いがあり、親密になる。

友達があり、一緒に遊べる。

その代用が、パソコンであり、スマートホンであり、携帯電話なのだ。

その意義がわかれば、パソコンを使いこなすことが出来る。

パソコンとは、友なのだから何でも頼んでいい。

その答えを出してくれるのは、一緒に歩んでくれる情報機器と言うことになる。

## 購入履歴

---

2005年 Mac mini (Late 2005) HDD 40GBを購入

OS X 10.4 Tigerを使用

2011年 Yahoo!オークションで売却

2009年12月 iPhone 3GS 32GBを購入

2010年2月 Mac mini (Late 2009) を購入

OS X 10.6 Snow Leopardを使用

2010年5月 iPad WiFi 64GBを購入

2011年6月 iPad2 3G 64GBを購入

2011年7月 OS X 10.7 Lionにアップデート

2011年12月 iPhone 4S 64GBに機種変更

2012年2月 HDD 320GB→1TBに換装

2012年2月 メモリーを4GB→8GB (1066 MHz→1333MHz) に換装

2012年6月 MacBook Air 8GB/64GBを購入

2012年6月 HP Photosmart 6510 AirPrint対応プリンタを購入

2012年7月 OS X 10.8 Mountain Lionにアップデート

2012年10月 MacBook Air用 SSD512GBを購入

2012年10月 Mac mini Late 2012 を購入

2012年11月 EMOBILE Poket WiFi LTE GL04P を導入

2012年11月 MacBook Pro 13インチ Retina Late 2012 を購入

2012年12月 iPad 4th WiFi 64GBを購入

2012年12月 iPad mini WiFi 64GBを購入

2012年12月 ASUS ZENBOOK 128GB (中古) を購入

2012年12月 ASUS nexus7 WiFi 16GB (中古) を購入

2013年1月 Apple Cinema HD Display (23インチフラットパネルモデル) (中古) を購入

## Windowsとの連携

---

### 1. 目的

Windowsとデータを共有して、お互いに変更し合っても常に最新データであること。

### 2. 実績

#### ・ SugarSyncでドキュメントを共有

Windowsでは[マイドキュメント]内に、[Magic Briefcase]が作成される。

Macでは[書類]内に、[Magic Briefcase]が作成された。

Windowsで保存した一太郎データとPDFデータとテキストファイルを、Macでも流用できるようにしている。

WindowsのOffice 2007とMacのOffice 2011とLibre OfficeとOpenOffice.orgのデータ共有に使用しても使えそう。

無料で5GBまで保存できる。

音楽データは置かない。ドキュメントと写真データなら大丈夫。

同期できるコンピュータの台数は無制限。

iPadとiPhoneから閲覧は可。ドキュメントの変更は不可。

Windowsで作ったテキストファイルもMacで文字化けしない。

外出先で閲覧できるように、ほとんど見ないような自炊本も入れて置く。

**Windows**の[マイドキュメント]を共有にするな！

音楽データと仮想化ファイルも同期され、無料の5GBを瞬時で超えてしまったため、SugarSyncから「アップグレードしろ」と催促が来てしまった。

→**SugarSync**は、ドキュメントファイルに徹するべし。

#### ・ DropBoxでデータを共有

インストールするとWindowsでは、[Dropbox]フォルダが[ユーザー]の下に作られる。

Macでは[書類]内に、[Dropbox]フォルダが作られる。

Office系以外のデータを保管。

HDDの故障で、無くなると困るデータを保管。

Windowsでは重要なIdeaTreeデータを、Macの仮想化マシンで読み書きしたい。  
仮想化ソフトは、価格セールの際にParallels Desktop 7とVMware Fusion 4を購入した。

Windows主導からMac主導に移行するときに使うつもり。  
このとき、Dropboxが重要な位置づけなのだ。

ログインIDとパスワード管理を、WindowsのIdeatreeから1Passwordで一括管理するように変更した。

1PasswordのデータをDropboxにて共有できたため、常に最新データとなる。

1Password以前は、IdeaTree（アウトラインプロセッサ）で管理していた。

1Passwordの価格セール販売の際、セットで購入でき、iPadとiPhoneの1Passwordは既に使用していたため、今は非常に便利。

Snow LeopardからLionにアップデートしたときは、テキストファイルがShift-JIS問題で文字化けしていたのだが、HDDを換装し、Lionを新規インストールしたら、なぜか文字化けしなくなっていた。

Jedit X StandardをApp Storeから購入した意味が無くなってしまった。

#### ・仮想化ソフト**VMware Fusion**でMacと同期

MacにVMware Fusionを導入し、WindowsXPやWindows7でWindowsソフトを使いたい。

用途はないが、Ubuntu、Windows95、Windows98、Windows2000も入れてみる。

Mission controlで仮想デスクトップを増やし、Windowsをフル画面で使用。

Macのメモリが4GBでは操作性は劣るだろうが、8GBだと空きメモリが2GB残っているので操作性は大丈夫だろう。

仮想化マシン内で**Dropbox**のインストールは要注意！

現在Unicode問題により、Bento4とアドレスブックのバックアップデータが増殖してしまう。

WordやExcelのデータに、問題は起こっていない。

データベース系のデータ保存には、注意した方がよい。

CSV形式については未確認。

仮想化マシンは便利

MacにインストールしたVMware Fusionから、Macの「書類」フォルダに直接アクセス

できる。

FusionのWindows7にSugarSyncをインストールする必要はないようだ。  
これで、Windows 7のマシンからMac主導へ移行できそうだ。

#### ・ EvernoteでWebクリップやメモを共有

ホームページ印刷が皆無になった。

気になった文章や写真、スクリーンショットをすべて取っておけるようになった。

Mac、Windowsとも、立ち上げ時に起動しておけば、使い勝手は非常に良い。

通常、iPhoneで入力した文章を、自宅に帰って別のソフトに流し込むことが多い。

Mac、Windowsのどちらからでも見えるので特定のソフトは使わず、テキストファイルの移動も無くなり、USBメモリーは使用しなくなった。

無料で60MBまで保存できる。

月平均45MBぐらい使用。

容量を脅かす写真データは、ほかのiPhoneアプリを使えば良い。

全ノートブック数は、1400を超えた。

雑誌にも書いてあるが、ノートブック数が1000を超えたあたりから過去データを参照しやすくなった。

ノートの分類項目が自分なりに落ち着き、タグも決まった内容でつけやすくなった。

ノート数が1000を超えたあたりで、ノート項目とタグの種類を一度整理したほうがよい。

そうすると、今後のタグの付け方が楽になる。

#### ・ メモの同期

iPhone、iPadは、iCloud経由でメモが同期できる。

Macとの同期も、[Mail]のメモで同期できる。

この機能は非常に便利なのだが、Windowsへの同期はない。

このあたりのアプリ、ソフトは今後に期待するしかないだろう。

現状は、Evernoteを利用するしかないが、ややリアルタイムという点で劣る。

後日、仮想化 Windows 7にインストールしたOutLook 2007に、iCloudのアカウントを設定すると、「メモ」ではなく「Notes」にて同期できる事がわかった。

これでメモの同期が、iPhone、iPad、Mac、Windowsでできるようになり、と完璧となった。

## ・ SkyDrive

Mac対応のクラウドが出てきた。

Macでは、ファインダーからアクセスできる。

使い勝手は良さそう。

Excelファイルも、numbers・Bento・LibreOffice(Calc)で開く事ができる。

もちろん、Office2011 for Macなら、標準で開けるだろう。

ソフトウェアをインストールしていなければ、ブラウザの使用がメインとなる。

とりあえず、LibreOfficeをインストールしてあるので、これで十分使える。

個人使用なら、申し分はない。

## ・ Google Drive

本命のクラウドが立ち上がったようだ。

Macでも、ファインダーからアクセスできる。

Google Documentの使用を一時休止してきたが、これからは一線級のクラウドになりそう。

Google Docs(gdoc)をクリックすると、Safariが起動してドキュメントが編集可能になる。

これは、便利！

しかし、少し複雑なWord2003のファイルは、正常に表示されない。

LibreOfficeだと、標準で起動でき、正常に表示できる。

この環境なら、個人使用としては問題ないだろう。

また、Office2011 for Macなら、標準で起動できるはず。

Office2011 for Macの購入条件はぐっと高くなったといえる。



# Windows on Mac

---

## 1. 目的

Mac上の仮想化ソフトVMware Fusion 4とParallels Desktop 7で、どこまでWindows環境が移行できるか実証する。

## 2. 実績

### VMware Fusion 4 プリンタ環境

Windowsに接続しているプリンタは2機種ある。

USB接続のiP4500とLBP-3300を、CenturyのネットワークHub名人（USB Server）を介して、ソフト上で切り替えていた。

この環境のまま、仮想化ソフト内で完全なる移行ができるか検証してみた。

仮想化上でプリンタを使う場合、まずMacのプリンタドライバが存在しなければいけないようだ。

また、CenturyのネットワークHub名人（USB Server）を装着した状態で、果たしてドライバーがインストールできるのか。

### Macにプリンタドライバーを

Macの「システム環境設定ープリントとスキャン」から、**iP4500**のプリンタを追加を試してみた。

既に用意されていたのか、以前にインストールしたのか、iP4500のプリンタが出てきた。

名前は、「Canon iP4500 series-000c5f-2」

場所は、「USB Server」

ドライバは、「Canon iP4500 series」

USB接続だけれど、ネットワーク変換しているから、「USB Server」なのだろう。

そのまま追加して、「ネットワークでこのプリンタを共有」にチェック。

**LBP-3300**の場合は、出てこないので選択できない。

まず、Mac用のドライバをダウンロードして、インストール完了。

そして、「システム環境設定ープリントとスキャン」から、LBP-3300プリンタを追加を試してみた。

名前は、「Canon LBP3300-000c5f-2」

場所は、「USB Server」

ドライバは、「Canon LBP3300 CAPT (JP)」

「プリンタソフトウェアから選択」からLBP3300を選ぶ。  
そして、そのまま追加して、「ネットワークでこのプリンタを共有」にチェック。

このMac上のプリンタドライバーを経由して、仮想化マシンではWindowsのプリンタドライバーをインストールするらしい。

### Windows XP Professional の場合

まずは、USB Serverの最新ドライバをインストールして、Windowsを再起動。  
Launch USB Serverを起動すると、iP4500とLBP-3300のプリンタが一覧に出て来た。  
このまま選んでもプリンタドライバをインストールしていないので、使えない。

まず、iP4500を「USBデバイスを接続」選択し、プリンタドライバをインストールしてみた。

インストールは完了し、メモ帳で印刷してみたら、うまく印刷できた。  
簡単に書いているが、完了するまでいろいろ試行錯誤した。

次に、LBP-3300を「USBデバイスを接続」選択し、プリンタドライバをインストール。

途中、ローカル接続、ネットワーク接続、USB接続の選択画面になる。  
ネットワーク接続かなと思ったが、USB接続をえらんでインストール完了した。

ようやく目的は達成できたが、ここまでするのに2時間以上は費やした。  
ローカル接続なら、こんなに苦労しなくてよかった。

### Windows 7 の場合

iP4500は、「**USB**デバイスを接続」を選んでも、ローカル接続できない。  
通常、USB ServerのIPアドレスは、「192.168.11.9」なのだが、iP4500の場合は、「192.168.11.11」になってしまう。  
これでは、つながらない。  
これは、ソフト上の問題だろう。

iP4500は、Windows標準ドライバしか用意されていない。  
OSが勝手に判断して、ドライバを変更できない。  
最新プリンタのように、ドライバを別途インストールするタイプならよかったのかも、と思う。

LBP-3300は、Windows XP と同じようにインストールでき、使えるようになった。

## 結論

後日、思いつくところがあって、Windows 7を起動する前に、設定をいじくってみた。プリンタの項目に、「異なるデフォルトのプリンタを許可する」なる設定があった。こちらにチェックを入れて起動し、Launch USB ServerでiP4500を接続すると、Windows 7標準のプリンタドライバがインストールできた。LBP3300も同様、USBデバイス接続後、プリンタドライバがインストールできた。

なんのことはない、プリンタをMacと連携せず、Windows単独状態でドライバを認識させればよかったのだ。

結局、感違いだった事がわかった。  
よかった、よかった。

印刷環境は、Mac依存でも問題ない事がわかった。  
Windows XPとWindows 7 なら、Windowsパソコンを起動しなくてよい。

## Parallels Desktop 7 プリンタ環境

### Windows XP Professional の場合

最初、Launch USB Serverを起動しても、USBデバイス（USBプリンタ）が見つからない。  
とりあえず、あきらめる。

このあと、「デバイス—構成—ハードウェア—ネットワーク 1」で、共有ネットワーク→Ethernetに変更。  
Windows XP を再起動すると、ネットワークが認識した。  
あとは、Launch USB Serverを起動し、USBプリンターを接続しながらプリンタドライバをインストールすると、印刷可能になった。

### Windows 7 の場合

「デバイス—構成—ハードウェア—ネットワーク 1」で、共有ネットワーク→Ethernetに変更。  
Windows XP を再起動すると、ネットワークが認識した。

iP4500は、「USBデバイスを接続」を選んでも、ローカル接続できない。  
USB ServerのIPアドレスは、「192.168.11.9」であるが、iP4500の場合は、「192.168.11.13」になってしまう。

LBP-3300は、Windows XPと同じようにインストールでき、使えるようになった。

## VMware Fusion 4 アプリケーション環境

Windows PCを全く使わずにMacだけで運用するには、仮想化ソフトにアプリケーションをすべて入れてしまえばよいという事で、徐々にインストールしていく予定。

Macのソフトで代行できれば、それにこした事はない。

### 音楽関連

MIDIデータの視聴は、Windowsソフトなら多種多様。

仮想化Windows から、Macに保存したMIDIが参照できるので、問題ない。

NASも、仮想化Windows から見えるようになったので、移行は完璧。

MIDIの再現については、Windows XPなら問題ない、Windows 7だと音が飛んで音源が再現されない。

これは、Windows 7側のMIDIマッパーに問題あり、エミュレートできていない。

音源がSC-88PRO系の曲などは、まともな曲にならない。

MP3データは、もう既にMacのミュージックプレイヤーで運用済み。

Windows Media Centerも、NASのデータを読み込みできるので問題なし。

ミュージッククリップもMacは得意分野、問題ないだろう。

### 写真の編集

Macでもいろいろあるだろうし、Windowsのアプリケーションは無料ソフトが多いので、ひと手間かければ大丈夫。

### 動画の編集

これもMacは得意分野だろうが、仮想化Windowsのソフトでもそのまま使える。

データをMacに一括保存できるメリットがある。

## ドキュメントの編集

Windows XPとWindows 7にLibreOffice 3.5をインストールした。

データは、Mac側で保存するため、これでよい。

Microsoft Office 2007でもよかったのだが、仮想化ファイルをたくさん作ったので、無料のLibreOffice 3.5のほうがインストールしやすい。

また、LinuxのUbuntuも仮想化するので、UbuntuではLibreOfficeは標準装備のため。

そこで当面、Microsoft Office 2007は、Windows PCに置いておく。

一太郎2012と花子2012は、それぞれの仮想化ファイルへインストールできるが、メインの仮想化Windows 7で運用する。

## 日本語入力の切替え

VMware Fusionでは、Appleキーボードを使い日本語へ切り替えるとき、「かな」キーを使うが、ATOKを使う場合の切り替え方法がわからない。

通常、ATOKの日本語切替えは、「半角/全角」キーを押すが、Appleキーボードには「半角/全角」キーがない。

Webで調べてみると、ATOK2012の設定でできるとのこと。

参考にしたサイトでは、「英数」キーに、日本語入力ON/OFFを割り当てると使いやすくなると書かれていた。

## スキャン関連

ScanSnap S510をMacで運用すると、Macが占有されてしまい、待ち時間が手持ち無沙汰になる。

これは、当面Windows PCを専用機種として残したほうがよいと判断した。

データは、取り込み後にすぐ簡易NASへ保存することにする。

## データ共有環境

**SugarSync**は、必要なし

Fusion 4では、ドキュメントやダウンロードがMacと共有できるので、インストールは必要ない。

Windows側のドキュメントを開けば、Macの「書類」が開いてくれる。

**Dropbox**は、必要かも

エクスプローラーをたどれば、たどり着けるのだが、インストールした方が便利。

## オンラインストレージ全般

YahooボックスとかNドライブなどほかにもあるが、今は必要なく、今後考える。

## Windowsクライアントの種類

### Windows 7 Professional (x32)

今は、Windows PCをデータ移行用と本のスキャンに使用しているので、Fusion 4にはインストールしない。

### Windows 7 Home Premium (x32x64)

Fusion 4に64ビット版をインストール。

そろそろ64ビット版で運用しようかと考えており、64ビットWindows環境で試行。

設定でプロセッサを2個（Macは2個）、メモリを1.5GB（Macは8GB）にすると快適になる。

メモリを2GBにすると、Mac側の音楽演奏やラジオ視聴で、音声途切れるため。

後日、Office 2007 PersonalをWindows PCから削除して、こちら側へインストールする予定。

### Windows Vista Ultimate (x32x64)

32ビット版をインストールしたが、セキュリティの問題でソフトがインストールできない。

時間があったら、修正する。

設定でプロセッサを1個（Macは2個）、メモリを1.5GB（Macは8GB）にすると快適になる。

### Windows XP Professional (x32) - 2枚

1枚はインストール済み。

オンラインソフト系を主に使用する予定。

もう1枚は、Macとの連携なし独立運用で、スタンドアローンOSとして使う予定。

設定でプロセッサを1個（Macは2個）、メモリを1.5GB（Macは8GB）にすると快適になる。

### Windows XP Home (x32)

特に考えていない。

### Windows 2000 - 3枚

1 枚は、インストール予定で、用途は未定。

### **Windows Me**

インストール予定で、用途は未定。

### **Windows 98**

インストール予定で、用途は未定。

### **Windows 95**

インストール予定で、用途は未定。

### **Windows 3.1 (+MS-DOS 6.2)**

インストール後、オークションで仕入れたVector本のオンラインソフトを入れてみようかと考えている。

# ToDo管理

---

## 1. 目的

MacとWindowsとiPadとiPhone共通のToDo管理をしたい。

## 2. 実績

iPhone購入以前は、CasioのカシオペアやDELLのPDAでなんとなくToDo管理的なことをしていた。

その後、システム手帳を買ってデビッド・アレンなどのGTD本を読みあさり、自分でも満足していた頃にiPhone 3GSを購入した。

ゲームなどはそっちのけで、スケジュールアプリやToDoアプリをダウンロードしては、毎日せっせと入力した。

### iPhoneで管理

#### スケジュール

PocketPCで使っていた「さいすけ」と「Pocket Informant」をダウンロード。

メール管理は、既にGoogleで運用していたため、スケジュール管理はスムーズに移行できた。

どちらも使いやすく、メインは「さいすけ」

今は、「Week Calender 4.2」

スケジュールでカラフルな色を選べるため。

#### ToDo

いろいろダウンロードしてみたが、「OmniFocus」と「Things」

価格は高かったのだが、使いやすそうなので選んでみた。

当初、Macと連携する手段がWiFiだけだったので、目論見と違った。

また、Mac版の「OmniFocus」と「Things」の価格が高すぎる。

以上の理由で、MacでのToDo管理はやめてしまった。

当然Windowsは、はなから無理だとわかっていた。

その後、「OmniFocus」がOMNI Serverを立ち上げてくれたので、iPadと同期できるようになった。

わたしに取って、iPadのToDo管理はあまり意味ないのだが、まあ便利かなと。

余裕があればMac版も買ってみたい。



「Things」もクラウドを立ち上げてほしい。

今は、iCalと同期。

## MacとWindowsで管理

スケジュール

最初は、iPhoneとGoogleで管理していた。

今は、AppleがiCloudを立ち上げたので、MacのiCalとiPhoneのWeek Calenderを使用  
。

Windowsでスケジュールを見ることは、無くなった。

ToDo

現在知っているソフトでは、「Wunderlist」のみ。

iPhone、iPad版もあるので重宝している。

ただ、「OmniFocus」と「Things」のような使い方ができないので、不満が残る。  
文字入力中にENTERキーを押すと、勝手に確定してしまうところがダメなところ。

## 日記帳で管理

「Day One」に、何でも書き込む。

Mac、iPhone、iPad版が出ている。

気になる事、考察、用事、小まとめなど、細々した事を書き留める。

外では、iPhone版で行い、自宅ではMac版で入力する。

あとでその内容を、別のソフトやデータに貼付ける。

現在、iPhoneのメモ帳からこちらに移行済み。

長文ならば、メモ帳の方がよいと思う。

Day Oneは、箇条書きで意味が通じるため、即興で入力する事に向いている。

# Linux on Mac

---

## 1. 目的

LinuxとMacのファイル共有がスムーズにできる事。  
Ubuntuを使って、使える代物なのか試してみる。

## 2. 実績

Windowsの仮想マシンでは、VMware Fusionを使用したので、Ubuntuは、Parallels Desktopを使用する。

### Ubuntu 11.04のインストール

ISOファイルをダウンロードして、Parallels Desktopから読み込ませる。  
プロセッサは、1個にしてメモリを1GBに設定した。  
インストールは、そんなに時間はかからず、すぐ終わった。

### 日本語化

問題は、日本語表示になっていない事。  
以前のUbuntuと使い勝手が変わっているので、システムを変えるのに苦労した。

まず、languageを探してみるが、見つからない。  
サーチボタンなるアイコンがあったので、languageと入力する。  
見つかったのだが、日本語環境が選べない。  
日本語の文字は見えているが、クリックしてもEnglishのまま。  
何気なく、日本語の文字を上ドラッグすると、移動するではないか。  
おお！と驚き、一番上までドラッグした。  
これで日本語が最優先される。  
あとは、Apply System-Wideなる設定をしておいた。

となりのタグに、Regional Formatsがあるので、ここも日本語に。  
さらにおまじないで、Apply System-Wideをクリック。

これで再起動。  
無事、日本語化完了。

画面が5分で暗くなってしまう。

サーチボタンより、screenと入力。  
スクリーンセーバーの時間設定を、1時間にした。

## Ubuntu 11.10のインストール

手順は、Ubuntu 11.04と同じ。  
インストール時間は、18分。

### 日本語化

サーチボタンで、Language supportを呼び出し。  
Install/Remove Languagesで、Japaneseを選ぶ。  
Apply Changesをクリック。

「日本語」を一番上までドラッグ。  
おまじないで、Apply System-Wideをクリック。

Regional Formatsも日本語に。  
さらに、Apply System-Wideをクリック。

そして、shutdown。  
新たに11.10を起動。

## ファイル共有

仮想Windowsマシンのように簡単にできないので、ネットワーク2を追加し、Ethernet接続を増やした。

Ubuntuからも、ネットワーク経由でファイルにアクセスできた。  
ただ、Excelファイルの互換性がなかったのか、起動できなかった。  
双方とも、LibreOfficeで作成する必要があるようだ。  
今後の懸案事項である。

## Mac Only

---

### 1. 目的

Windowsソフトを使うより、Macソフトの方が有利なものを選び出す。

### 2. 実績

#### ScanSnap S510 for Windows（電子書籍化）

- 1) Macでのスキャンは速く快適だが、OCRテキスト認識ができない。
- 2) Windows PCも速いし、OCRテキスト認識も付加されるが、テキスト認識に時間がかかる。
- 3) 仮想マシンでは、OCRテキスト認識の速度が遅い。

#### 雑誌の場合

Windows PCを使う必要はない。

雑誌は、画像が多く文字が少ないため、OCRテキスト認識の必要があまりない。

ScanSnap S1500Mに買い替える選択肢もあるが、雑誌だけならMac用ドライバを使う事で十分。

Adobe Acrobat PRO for Macを購入すれば、必要なときにOCRテキスト認識ができる。また、仮想化マシンにインストールしてあるAdobe Acrobat 9でOCRテキスト認識ができる。

Adobe Acrobat 9 Standardは、2台までインストールできる。（ディスクは2枚所有）

#### 単行本の場合

画像がなく、文字情報だけであり、文字を引用する場合もあるため、OCRテキスト認識は必須。

ページ数が多い場合は、Windows PCにScanSnapを接続すればよい。

ページ数が少ない場合は、Macの仮想マシンで読み込ませればよい。

OCRテキスト認識が必要ない書籍は、Macで直接スキャンする。

#### 結論

雑誌と単行本は、すべてMacでスキャンする事にした。

ドキュメントスキャナーと通常スキャナーは、Macへ接続する事にした。

OCRテキスト認識が必要な場合のみ、Windows PCを使用する。

または、仮想化マシンでOCRテキスト認識させる。

## 書籍の閲覧

Ehonは、フリーで使いやすい。

フォルダごとインポートすれば、表紙部分がサムネイル表示され、どんな本かすぐわかる。

書籍の表紙はオリジナリティあふれているので、必ず取り込んでいる。

また、リスト表示にすれば、カテゴリ別に表示もできるので、見つけやすい。

ダブルクリックすれば、本が開き内容が確認できる。

拡大・縮小はボタンで操作でき、マウス操作でページを移動できる。

Magic TrackPadがあれば、指を滑らすだけで楽ができる。

Windowsに、Adobe Digital Editionなるものがある。

操作性が違い、一覧表示には向いているが、こちらのほうが断然使いやすい。

## 書籍のスライドショー

Acrobat Readerで、スライドショーができる。

### 自動スクロール

<表示—ページ表示—自動スクロール>

自炊した本を、自動でページがスクロールされるので、雑誌の見出しを大まかに閲覧する場合に便利。

見たい場所で止めるときは、ESCキーを押す。

### 全画面でスライドショー

<環境設定—フルクリーンモード—表示ページを切り替える間隔>

を、10秒程度に設定しておく、

<表示—フルクリーンモード>

フルクリーンモードに切り替えると、10秒ごとにページが切り替わる。

終了は、ESCキーを押す。

環境ビデオのように、パラパラとめくりながら流しておく事ができる。

今まで使った事がなかったので、こんな便利な機能がある事を知らなかった。

おすすめの機能である。

## Webブラウジング

### FireFox

SafariよりFireFoxがメイン。

使い慣れているかもしれないが、前回の画面を表示できることと、ピン留めでサイト

を固定できることが嬉しい。

Safariは、ラジ録2の使用で常時使用しているためでもある。

また、WebクリップはEvernoteを使用しているので、Safariからクリップするよりも、FireFoxのアドオンの方が速くて、狙いどりのスナップが取れると感じている。

## Google Chrome

Gmailをメインに使っていて、機能を増やしたい人は、Google Chromeがオススメ。

Evernote クリッパーはもちろんの事、Wunderlistが機能拡張できることを知ったので、インストールしてみました。

ちょっと使うだけで、これはFireFoxの代用になると確信しました。

また、少し使ってみただけですが、使いやすいです。

機能拡張できるアプリも多いようですし、メインのブラウザとして運用できそうです。

WebのIDとパスワードをどこまで記憶してくれるかがカギで、これは使ってみないとわかりません。

当面は、FireFoxとの併用になるかと思います。

今、ToDo管理の試行錯誤をしており、Wunderklistがブラウザ内のタブで管理できれば、他のToDoソフトを買わないで運用できるかもしれません。

とにかく、今日からChromeを使います。

Windowsでの使用感も気になりますし、もっと感動が見つかるかもしれません。

## 仮想画面

Windowsでは使ったことはないが、勝手に画面がスクロールしてくれるのは、使いやすい。

また、Magic TrackPadを持っていることが前提で、スパッ、スパッと画面が切り替わる爽快感は、Windowsでは味わえないだろう。

「このソフト、じゃま！」と言いながら、右手を払うジェスチャーは、心をそのまま表しているようだ。

## 結論

[その1]

Macは、バックグラウンドで何か処理しながらメインソフトを動かす。  
初心者の事を考え、何でもできるんだぞ、というコンセプトなのだろう。  
Windowsは、メインオンリーの処理が多い。  
その仕事に集中しなさい、というソフトが多すぎる。  
未だにマルチタスクという考え方が薄いのだろう。

MacはAppleが管理しているので、ソフトの連携はうまい。  
Windowsは、サードパーティーだらけで、ソフトの連携を全く考えていない。  
データだけ使い回ししているように思えるのが、今の感想だ。

iPhoneやiPadは、ほかのアプリを使えるよう、アプリ内でデータを引き渡す場面が多い。

### 1. 目的

Macから、Windowsから作成中ファイルのバックアップ、永久保管ファイルのバックアップ、システムのバックアップ等を最適化する。

### 2. 実践

作成中ファイル

#### Yahoo!ボックス

Yahoo!ボックスは、Yahoo!オークションなどで、ユーザーとなれば50GBが与えられる。

無料でも5GBで、ブラウザー経由ならWindows、Macのマシンの差はない。

作成中のドキュメント類、データ類をバックアップするのに最適。

アクセス中にもたつく事もなく、動作は軽い。

Macの書類の中身を、作成時期別のフォルダを作りデータを放り込む。

古くなったフォルダは、削除すればよい。

現在、50GBの容量を持っているため、臆せず放り込める。

ファイルの閲覧はできないが、バックアップとしては良好。

写真は、iPhone・iPadから直接閲覧できるので、まとめて置いておく事ができる。



# Mac システム改善

---

## 1. 目的

Macのシステム改善をメインに行う。

## 2. 設定

## 3. 実績

入力方式

### ATOK 2012 for Mac

ATOKをインストールしてみた。

Mac標準のことえりでは、デリートキーや矢印キーを連続で押すと、カーソルがとんでもない場所に移動してしまう。

文書の入力中にこのパターンに陥ってしまうと、せっかく入力した文章が途中で書き換えられてしまう。

ほんとに、困ったちゃんだった。

ATOKをインストールしてからは、こういう変な挙動の動作がしなくなったため、正解だったと思う。

速攻で、ATOK 2012を注文しました。

入力システムというありふれたソフトなので、ワクワクするような感じはないのですが、これで不満が解消できれば満足するでしょう。

# MacBook Airを購入

---

## 1. 目的

MacBook Air 8GB/64GBを購入したので、最適な使い勝手を模索する。

## 2. 設定

— **MacBook Air 4GB/64GB ¥84,800**

-----  
11インチ : 64GB

1.7GHzデュアルコアIntel Core i5 プロセッサ

(Turbo Boost使用時最大2.6GHz)

4GBのメモリ

64GBフラッシュストレージ

Intel HD Graphics 4000

-----  
— 8GB 1,600MHz DDR3L SDRAM [プラス ¥8,800]

○MacBook Air 8GB/64GB ¥89,143

— Apple USB SuperDrive [プラス ¥6,800]

○Apple USB SuperDrive ¥6,476

— HP Photosmart 6510 AirPrint対応プリンタ [プラス ¥9,800]

○HP Photosmart 6510 無線LAN AirPrint対応 ¥9,333

○トータル **¥110,200**

プリンタがiPadの印刷に対応しているか? . . . OK!

<勝手に使い勝手> . . . 使用前から用途について書いてみた

- ・ 自宅では使わない機能とソフト
- ・ 出張に利用
- ・ 何かの集まりで利用
- ・ 休みの日の暇つぶしに
- ・ 喫茶店で何か作成
- ・ ローン計算書
- ・ かな変換など、ショートカットキー一覧

- ・ タタミに寝っ転がって操作
- ・ インストールは、急いですべてのソフトを入れない。
- ・ 地道に必要なものからいれていく。

#### <インストールソフト>

- ・ *Parallels Desktop 7 for Mac*
  - Windows XP Professional
  - うんづ
  - 一太郎
  - 花子
  - Microsoft Office 2007 Personal

- ・ Mac App
  - Pages
  - Numbers
  - iA Writer
  - Jedit X Standard
  - Ehon
  - ATOK 2012
  - Google Chrome
  - Day One
  - 1Password
  - AppCleaner

- ・ Web Storage (Cloud)
  - Dropbox
  - SugarSync
  - Evernote (Browser Only)
  - Yahoo box (Browser Only)
  - Google Drive (Browser Only)

#### <インストールしないソフト>

- ・ ToDoソフト入れない
  - 外出時では、ネット環境にないため

- ・音楽も入れない  
iTunesで買った音楽ファイルのみ  
SSDの容量を考えて節約
- ・MS Officeも入れない  
Office 201 ? for Macを購入したら考える

#### <使用場所>

- ・WiFi 喫茶店で (Wireless Gateのmobile pointを利用)  
地元の駅のみ  
その他の駅は利用できない
- ・WiFiで利用する用途  
Puboo アップロード  
インターネットで調べ物  
Evernoteでクリップ

#### <最終目的を模索>

- ・ノートPCの新たな使い方を提示

### 3. 実績

#### HP Photosmart 6510

MacBook Air が到着する前に、プリンタが届いた。

早速セットアップを開始するが、セットアップが完了しないままエラーメッセージが出てしまう。

インクカートリッジを装着しても、同様だ。

USBケーブルでMac miniと接続し、インストールソフトをいれてみたが、プリンタのセットアップが終了していないので、正常に動かない。

セットアップ用のインクカートリッジを外して取り付けてみても、インクカートリッジのエラーで止まったまま。

インターネットで検索すると、プリンタのリセット方法が掲載されている。

試してみると、ブルー画面のエラー表示は消えたが、今度はインクカートリッジを交換してくださいと出た。

いろいろ試して見たが、同じ表示になってしまう。

土曜日の10時から、hpで問い合わせを受け付けてくれるようだ。  
会社でもよくhpに修理受付を申し出ているので、やっぱりhpは、と思ってしまう。

電話中は、プリンタのリセットやカートリッジのクリーニングの操作をし、指示どうりしたのだ、インクカートリッジを交換してくださいの表示。

で、結局プリンタの交換ではなく、セットアップ用のインクカートリッジを送付してもらえることとなった。

セットアップのカートリッジで作業が終了しなければ、プリンタは使用状態にならないらしい。

通常使用するカートリッジは、市販品を購入して欲しいとのこと。

最初決めた5510を購入しておけば、こういうことにはならなかったと思う。

欲を出して1ランク上を購入した結果が、この有様である。

運が悪いといえばそうなのだが、これも必然と呼ぶべきだろう。

最近とくに、物品購入に関して、宝くじもそうだが、運に恵まれなくなった。

その反面、今はやりたいことができるようになったので、どっちもどっちという感じである。

とりあえず、セットアップ用のインクカートリッジの到着待ち。

それまで、おあずけである。

後日、セットアップ用のインクカートリッジは来たが、やはりセットアップできなかった。

新品交換とあいなった。

今日、交換用のプリンタが届いた。

明日やってみる。

## MacBook Air セッティング

### セッティング

起動後、国情報や入力システムの設定をする。

WiFiの設定を行う。

Apple IDとパスワードの入力。

MacBook Airのコンピューターアカウント作成

フルネームとユーザーアカウント名とパスワードを入力。

あと、ユーザーの顔写真を撮る行為が途中にあったこと。

## ファーストインプレッション（第一印象）

意外と画面が横長なので、見やすく使いやすい感じがあります。

醍醐味は、大画面モニターを参照しながら、Airで入力することが出来るようになった。

キーボードのイルミネーションで、夜中でも打ちやすいことがわかった。

雑音がないので、集中しやすいこともわかった。

この大きさと重さなら、様々なデータを持ち運べそうだ。

SSDの容量は、128GBにした方が良かったかもしれない。

音楽と動画は、iPad2に譲ろう。

一番驚いたのが、モニターを開くと2秒で起動、閉じると0秒でスリープすることだった。

そして、パスワードを入力して、0秒でデスクトップ画面が復帰する。

これで、Mac OSを閉じる必要性がなくなった。

閉じていても、バッテリーの減りは1日数パーセントらしい。

## インストール

SSD容量・・・59.81GB

書類の容量・・・21GB（Parallelsマシンデータ14GBを含む）

Mac OSXの初期・・・14GB

アプリケーション・・・12GB

ミュージック・・・0.4GB

空き領域・・・13GB

最終的には、空き容量を最低10GBは確保したい。

USBメモリーを常時携帯する方が良さそうだ。

SDカードスロットも装備して欲しかった。

**USB3.0メモリー 32GB**を購入 (4,980円)

自炊本を20GB分保存した。

**USB**カードリーダー／ライターの小型版を購入 (1,980円)

SDHC16GBに、ラジオデータ (Radiko) 10GBを保存。

ドキュメント類を4.5GB保存。

ストレージの変化 (2012/6/25)

自炊本をSSDから消した。

オーディオ・・・1GB

アプリ・・・8.25GB

その他・・・33.8GB

空き容量・・・16.5GB

## Parallels Desktop 7

Windows XP Home Editionを、旧Windowsマシンにあった仮想マシンから移行した。

VMware Workstation用のファイルであったが、なんなく変換できた。

その後、JustSystemの一太郎2012と花子2012をインストール。

Microsoft Office 2007 Personalをインストール。

パチスロハウスとパチンコハウスをインストール。

それから、移行前から入っていたロトくじとナンバーズくじの解析ソフト達。

これらを入れた状態で、容量が14GB追加。

例のごとく、XPのサウンドが鳴らない。

Parallels Toolsの再インストールを行うが、音は出ない。

サイトでチェックしたDPinst.exeを使う方法があるみたい。

実行してみたがうまくいかない。

なら、セットアップファイルを直接インストールする方法でやってみる。

うまくいった。

音が出るようになった。

成功！

インストール方法は、XPのマイコンピューターから以下を探す。  
C:\Program Files\Parallels\Parallels Tools\Drivers\prl\_sound\prl\_sound.inf  
のinfファイルを右クリックして、インストールの項目を実行。  
これで、インストールできる。

## MacBook Air で運用

### Mac 環境設定

トラックパッドは、1本指でクリックするよう設定。

### 休みの日の使い方

休みの日は、お外でインターネットが良さそう。

自宅より別の意味で、休日っぽい。

休日は、MacBook Airを携帯する。

iPad2は、自宅に置いておく。

iPhoneのみ、携帯する。

地元以外なら、iPad2を携帯する。

これは、ルールではないけれども、こういう使い方が一番適しているかもしれない。

普段思いつかないような、別ジャンルの情報に接する機会が得られそう。

回りの話を聞くのもよい経験だし、新たな知恵が得られるかもしれない。

そういうときに、書き込んでおいて、後で調べたり、まとめたりすることが出来るそう。

iPad2は、一気に書き込んでしまう癖が付いてしまっている。

MacBook Airだと、じっくり落ち着いて書き込むことが出来る。

また、パソコンなら同時画面で、さまざまなアプリが使える。

iPad2だと、いちいち画面を切り替えないといけない。

ボタンを2回押して、使うアプリを探さないといけない。



アプリのアイコンを探す作業も加わる。

その作業中にミスなどをして、つい書き込む言葉を忘れてしまう。

こういうとき、Windows PCよりMacBook Airの方が適していると思う。

4本指をフリック（スライド）するだけでよい。

これも、Airならではの新たなパソコンの利用法である。

過去には、Windowsのノートパソコンで今のような使い方は出来なかった。

つい、趣味に走ってしまってゲームだったり、音楽を聴いているだけだった。

唯一、今の環境に近かったのは、PDAのシグマリオン3を使っているときだった

。

これもボタンひとつですぐ起動が出来て、すぐ書き込める状況だった。

ただ、いちいちソフトを起動しなければならないのが、Windows系の弱点だった

。

PDAのカシオペアから、iPhoneとiPadにたどり着くまでが長く、ずいぶん待ったと思う。

ようやく、待ちに待った環境にたどり着いた感がある。

まわりのインターネット環境も、ついにここまで来たかという感じである。

さらに、新たな使い勝手を探したいと思う。

# MacBook Air 運用

---

## 1. 目的

MacBook Airを使いこなす。

## 2. 設定

### MacBook Airのカバー

カバンに入れても傷つかないように、ダイソーで黄色のカバーを購入。  
情報を仕入れたいのなら、青色のカバーが風水では良いが、お金で黄色は出入りがはげいい意味合いがある。  
データの入出力が激しい効果と、活用の多さをねらって、黄色（蛍光色）にした。

## 3. 実績

### モニターに表示

Mini DisplayPort to VGA アダプタ ¥1,800

Apple純正 ¥3,400

IOデータのディスプレイを使っていないので、有効利用する。

直接Dsub-15のケーブル接続する方法と、ディスプレイ切替器を使う方法がある。

ディスプレイ端子は既に使っているので、切替器からケーブル接続する方法が良いだろう。

切替器経由だと、切替器の電源が入るか疑問があるが、やってみる価値はある。

後日談)

MacBook AirのUSBからの給電が充分あり、切替器の電源は入りました。

今日は、MiniDisplay - VGAアダプターとiTunesカード10000円分。

ヨドバシカメラでは、2枚購入すると2枚目が半額になるセールをしている。

アダプター3400円とiTunesカード7500円の10,900円の買い物となった。

### ポータブルHDD

ポータブルHDDは必要ない。

使う用途が見つからないし、もったいない。

だから買わない。  
ポータブルHDDケースがあればいい。  
中身のHDDのみ用意すれば、用は足りる。

2.5インチHDDケースを所有していた。(ATA用)  
あと、ケーブルだけのATA、SATA用USBケーブルもある。  
ATAの40GBと20GBを所有。  
40GBは、MacBook AirのTime Machineとして使用。  
20GBは、予備として使う。

## 使い勝手 その1

シンプルに使えるお薦め無料エディター iText Express。  
以前はインストールしていたが、使う用途がなかった。  
今回は、使いこなせるだろう。  
Jedit X Standardとの併用使用となる。

1 テキストファイルに何でもいからどんどん書きこんでいく。  
目的別にファイルを作成する必要がない。  
テキストファイルに長文と単文を書いていく。  
分類するのは、あとで各ファイルにコピーペーストすればよい。

iPadやiPhoneで作ったファイルも、MacBook Airに集約すれば、まとまりのある文章になるだろう。  
iPhone、iPadは単文形式。  
MacBookは、長文専用になる感じがする。  
なら、他のアプリは必要なくて、エディターのみあれば用は足りる。  
極端な例だが、それでいいと思う。

## iPadの方が入力はい速い？

Airより、iPadの方が、書き込みはすらすらといく。  
考えたことがそのまま書き込める感じだ。  
Airでは、一時考えてから入力することが多い。  
でも、iPadの入力には、もたつき感がある。  
Airのキーボードの方が、ノート型で慣れているせいもあるのか、入力はスムーズだ。

## データ活用編

### 携帯性の有効活用

部屋で、居間で、外の施設で、休憩時間に、電車で座り、何かする。

データを持ち込んで加工する。

持ち込んだデータから新規ファイルを作成する。

どちらも、ノートパソコンならではの利用法。

会社では思いつかなかったアイデア。

場所を変えるとひらめくアイデアと実用法。

周りの環境が与えてくれる新たなヒラメキ。

また、情報類と情報網。

スマートフォンでも出来るが、キーボードの方がスムーズに入力できる。

アプリを参照しながら、別のアプリで編集。

これらもパソコンならではの。

入力だけなら、B5サイズのノートパソコンで十分。

いろいろしたいなら、A4サイズ以上のノートパソコン。

いろいろ用途は考えられるが、入力はノートパソコンの方が軽快である。

MacBook Airは、土日と夜中の作業専門とする。

### ToDoに詰め込む

Thingsは、やろうとしていることを何でも書き込む。

たとえToDoにならなくて、翌日消してもいいじゃないか。

ようするに、メモ帳みたいなもの。

ノートパソコンでにらめっこする環境をつくる。

デスクトップとは、意味合いがちょっと違う。

デスクトップは、正面。

ノートは下向き。

## Airの利便性ノウハウ

Airは、即興性の書き込みには向かない。

iPadが有利。

理由は、どこでもカバンから取り出せる。

Airは、じっくり案を練ることに有利。

理由は、大局観のノウハウを利用できる。

座って入力することに意義・重要性がある。

腕を組むことが出来るキーボードポジションが絶対必要。

デスクトップでは出来ない、見下ろし型のフェイスポジションが重要。

本を読むポジション、ヒューマンナチュラルポジションに近い。

シンキング・アウトプットが出せるポジションであるといえる。

## データの集約はクラウドで

テキスト類は、Dropbox。

その他リアルタイム性のファイルは、SugarSync。

ネット環境上で編集が出来てバックアップしたいファイルは、Google Drive、SkyDrive

。

バックアップと永久保管したいファイルは、Yahoo Box。

Officeファイルは、SkyDriveで直接編集する。

Office2011 for Macは、2.7 GBのディスクを消費する。

Office2007 Personalは、1.5 GBほどディスクを消費する。

頻繁にWordやExcelのファイルは作成しないので、これで決まり。

Office ドキュメントは、SafariのSkyDriveで作るのがベスト！

## Office ソフト

---

### Office 2013

hotmailを持っていれば、いきなりSkyDriveに保存できる。

### Office 2011 for Mac

アップデートで、SkyDriveに保存できるようになった。

WordドキュメントがOpenOffice.orgで開いてしまうので、OpenOffice.orgを削除した。

### iWork

アップデートで、iCloudから開けて、iClodに保存できるようになった。

# VMware Fusion 5

---

## 1. 目的

VMware Fusionを使いこなす。

## 2. 設定

Fusion 5 PROへのアップグレードは\$49.99。

## 3. 実績

アップグレードしてみたところ、速さが40%増したようです。

Windows7とXPのリジュームも速くなった感じがしますし、サスペンドも同じです。

これで**\$49.99**は、安いと思います。

### 画面解像度

MacBook Airの解像度は1366×768であるため、VMware Fusionの解像度を1280×720にした。

さらに、使用時はフルスクリーンで行うので、ウィンドウが画面からはみ出ないようになった。

Tmidi Playerは、シングルウィンドウだと画面からはみ出てしまうので、Fusionのツールバーを隠しても大丈夫のようだ。

### 共用設定

Windows 7は、MacOSXのフォルダが見えなくなっている仕様みたく、Mac側の「書類」のドキュメントやピクチャー類をOFFにする必要がある。

Fusionの共用はオンにするが、共用フォルダには何も追加せず、ミラーフォルダのチェックも全て外す。

書類のファイルには、ネットワークからマシンを選び、ファイルの場所まで辿っていく。

そうすると、Windows 7からMacのファイルが見えるようになる。

## Mac mini へ SSD を導入

---

### 1. 目的

Mac mini Late 2009 にSSDをつなぎ、Mac OSの起動と終了とソフトの高速化を図る。

### 2. 設定

Mac miniに外付けSSDをUSB接続し、高速化。

INTEL SSD 330シリーズ 120GB . . . 8 9 8 0 円で購入

2.5インチHDDケース . . . 1 0 5 0 円で購入

#### Mac OS 10.8.1 Mountain Lionのディスク化

App StoreでMountain Lionを再ダウンロードする。

インストーラーが自動的に起動しますが、インストーラーは終了。

アプリケーションフォルダーの「OS X Mountain Lion インストール」を右クリックして、「パッケージの内容を表示」をクリック。

「OS X Mountain Lion インストール」→「Contents」→「SharedSupport」→「InstallESD.dmg」まで展開。

「InstallESD.dmg」を右クリックして、「このアプリケーションで開く」→「ディスクユーティリティ」を選ぶ。

「ディスクユーティリティ」が起動し、「InstallESD.dmg」を選んだ状態で、ツールバーにある「ディスクを作成」をクリック。

光学式ドライブにDVD-R DLメディアを挿入し、インストールDVDを作成する。

注意として、DVDの総容量は4.4GBあるので、2層式のDVD-R DLメディアが必要になります。

4.7 GBのDVD-Rだと4.3 GBぐらいしか書き込みできません。

#### OS X Mountain Lionのインストール

2.5インチHDDケース（SSD入り）をUSB接続する。

ディスクユーティリティのオプションでパーティションタイプを「GUIDパーティションテーブル」で作成する。

次に、Mac OS 拡張（ジャーナリング）でフォーマットする。

そして、「システム環境設定」「起動ディスク」パネルでインストールDVDを選んで再起動。

### 3. 導入



## 起動と終了の確認

起動時間は、27秒になりました。

いままで1分以上かかっていたので、ずいぶん速くなりました。

終了時間は、5秒です。速い！

## アプリケーション

起動は1秒以内で起動します。

### 120GBの容量問題

SSDの容量は少ないため、すべてのアプリケーションとデータを移行できません。

内蔵HDDは1TBありますので、こちらのアプリケーションを利用できないかと考えていたところ、直接起動すれば起動可能でした。

だから、SSDにアプリケーションをインストールする必要はありません。

しかし、ソフトの速度は落ちてしまう可能性が高いので、よく使うソフトはSSDにインストールします。

インストールもCDからではなく、内蔵HDDのアプリケーションをコピーするだけで、SSDに移せます。

これは、予想外でした。

Windows以前のコンピュータはこれでしたが、Windowsではこれができませんでした。

Macは、うまくできていると思います。

Office 2011 for Macは、アプリケーションをコピーしても起動しません。

新規でインストールしなければならないアプリケーションもあるようです。

## 仮想化マシンの遅延

SSDの容量が100GB残っているのですが、Windows 7の仮想マシンをSSDに移動した。

最初は、ネットワークが崩れていたのですが、Windows 7を再起動、そして最適化してくれました。

しかし、レジュームが異様に遅い。

Windowsアプリケーションの動作も変だ。

SSDにコピーしたのに、SATAのHDDより遅いときがある。

しかたがないので、HDDのWindows 7に切り替えてしまった。

納得いかないのですが、ネットで調べるとグラフィック3DをOFFにすると速くなるらしい

。

また、仮想ディスクのクリーンアップのボタンが押せる状態になっていたのも、押してみた。

仮想ディスク容量が56GBから49GBに減った。

結果は、これだけで速くなった。

仮想ディスクが壊れていたか、再利用領域が邪魔をしていたのかもしれない。

これで、SSD効果が最大限に利用できるようになった。

また、遅い原因としては、ラジオを録音する「ラジ録2」が変換作業でフリーズしたときに限り、仮想マシンの動作が非常に重くなり、アプリケーションの動作もおかしくなることがわかった。

このソフトを強制終了させることによって、動作が機敏になることもわかった。

## Mac Book AirとMac miniの共有

---

### Mac Book AirとMac miniの共有

#### ユーザーの共有化

ユーザーをMac Book AirとMac miniとも、同じユーザー名にする。

システム環境設定を起動する。

「ユーザーとグループ」を開く。

フルネームを「AAAA」とする。（参考）

Apple IDをMac Book AirとMac miniとも、同じIDにする。

Apple IDを「BBBB@me.com」とする。（参考）

Mac Book AirとMac miniとも再起動する。

#### 共用フォルダ

システム環境設定を起動する。

「共有」を開く。

ファイル共有にチェックを入れる。

共用フォルダに「書類」フォルダを追加する。

オプションのAFPとSMBにチェックを入れ、ユーザーアカウントもチェックを入れる

。

#### 画面共有

リモートマネージメントにもチェックを入れておく。

Mac Book Airから、またMac miniからリモート操作ができるようになる。

アクセス許可を次のユーザーのみ「AAAA」を選んでおく。

Mac Book AirとMac miniとも再起動する。

#### アクセス操作

Finderの「移動」の「サーバーに接続」を開く。

「ブラウズ」で共用したいパソコンを選ぶ。

Mac Book AirならMac miniを選ぶ。

Finderの「共有」にMac miniが現れる。

これで、共用パソコンの操作ができるようになる。



# MacBook Airと24インチモニター

---

## MacBook Airと24インチモニター

### 1. 目的

現在、MacBook Airと19インチモニターは、Mini Display PortとVGAケーブルで接続できる。  
しかし、メインの位置には24インチモニターがあるので、こちらに表示させたい。

### 2. 設定

24インチモニターには、ディスプレイ切替器でDVI接続してある。  
これを取り外すと、Mac mini機とWindows機が常時表示できなくなる。  
24インチモニターの背面には、DVIとHDMIとVGAの端子があり、HDMIとVGAが空いている。

DVIとVGAにケーブルを接続すると、DVIしか映らない。  
VGAが死んでしまう。

これを解決するには、モニターの設定ボタンを操作しなくてはならない。  
そんな面倒なことはしてられない。

### 3. 実績

HDMIを使ってMacBook Airを接続すると、自然に切り替わって欲しいのでケーブル類を買ってみた。

PLANEX Mini Displayport HDMI変換アダプター PL-MDPHD02  
1400円

PLANEX ハイスピードHDMI Ver1.4ケーブル 1m PL-HDMI01-EZ  
514円

Amazonで2010円だった。  
当日配送ですぐ配達された。

モニターの設定で「HDMI自動切り替え」をオンにして、MacBook Airにケーブルを接続して

みた。

自動では切り替わらないようだ。

モニターには、Mac miniの画面が映っているので、自然には切り替わらない。

HDMI優先にはならないようである。

## 結果

結局、**Mac mini**を起動しない状態で**MacBook Air**を接続すると、しっかりモニターのディスプレイに**MacBook Air**が表示されている。

まあ、交互で両画面を24インチモニターで表示させることは少ないと言うことで、これはこれで良しとする。

同時表示は、24インチモニターと19インチモニターを使えばよいので、問題とならない。

ノートパソコン使用時は、デスクトップ機はお休み状態としよう。

今回の買い物も、これまた失敗ではなかったようである。

本当なら、AppleのThunderbolt Displayを買えばいいのではと誰でも思うでしょうが、うちのパソコンデスクには高さ制限で27インチのモニターが収まらない。

且つ、価格が高すぎる。

以上の理由で、はなから買う気はないのである。

しかし、モニター画面は若干黄みがかっている。

DVI接続なら、この問題は出ないと思う。

予算があれば、DVIのディスプレイ切替器（4連）を買う手もある。

今は、Mac miniとWindows機だけであるが、Mac miniの最新機種が出れば買う予定があるので、3台を切り替えるには4連のディスプレイ切替器が必要になる。

また、旧Mac miniとなる現行機種は、VGA接続でも問題ないだろう。

ということで、今は考えないことにする。

## Apple キーボード Wireless日本語入力の不具合

---

### Apple キーボード Wireless

最近、文字入力が勝手に変換されてまともに入力できない。  
日本語がまともに入力できないのだ。  
入力途中で、勝手に変換されてしまう症状が出ていた。  
一文字一文字をゆっくり入力すると、正常に入力できるのだ。

そこで、以下を試してみようと考えた。

キーボードの充電式電池をアルカリ電池に替える。  
Mac miniには、DVI切替器にWindows機でも使えるように、Windows用のワイヤード  
キーボードをつないでいる。  
このワイヤードキーボードが、いつも押されている状態になっていないか確認する。  
また、スペースキーやエンターキーや漢字キーや英字キーが押されていないか？  
さらに、ワイヤードキーボードを外してみる。

自宅に帰る途中でいろいろ考えたが、システム設定を開くと原因がわかった。  
それは、ワイヤードキーボードのキー初期設定をしていなかったのが原因だった。  
SSDを導入したとき、Apple キーボード Wirelessのキー設定はしたが、ワイヤードキーボードの方は、キー設定をしていなかったのだ。

これで、日本語入力の不具合が解消できた。

## AirとiPad2の携帯

---

### 1, MacBook AirとiPad2の持ち運びを考える

どちらも外観はアルミ製であるから、キズ防止を目的とする。

### 2, カバンはビジネス用、インナーカバーは実用性を考える

カバンは、特に買わずに手持ちのものを使用する。

インナーカバーは安く手に入れる。

### 3, 実績

インナーカバーは、「ダイソー」の105円に決定。

ファスナーは使いづらいので、ハサミでちょん切る。

入り口はオープンなので、出し入れ良好。





# ScanSnap S510 紙送りの改善

---

## 1, 目的

ScanSnapも長年使っていると、紙を送れなくなる。  
枚数が多い場合、紙の質が違くとフィーダーが途中で止まる。  
これの改善を目指す。

## 2, 使用するもの

コーヒーの空き缶を使う。

## 3. 実績

ローラードラムの使用回数が8000回転（交換期間は10000回転）を超えると、ローラーに紙が食い込まずローラーが空転してしまう。  
紙の質により、紙が送れなく不具合が多々出るようになってしまった。

そういうときは、紙をScanSnapにそのまま差し込まず、紙の束を45度起こして差し込むとスムーズに読み込んでくれるときがある。

こういうとき、紙の束とScanSnapの間に空のコーヒー缶を置くと、紙が30度から45度ほど少し起き上がる。

紙が起き上がれば、ローラーに順次、紙が食いついていくようになる。  
そうするとローラーの空転がおさえられるようだ。

コーヒー缶は、蓋付きのPOKKAのaromaxを使った。

これはホッチキスの針入れに使用しているもの。

針のカスが入っているので、少し重たい。

この重さがよいようである。

これを紙の後ろに差し込むと、コーヒー缶は回転して、紙は毎回ローラーの方向に吸い込まれていく。

紙の質によっても効果は変わるが、おおむね良好である。

付属品のローラーを購入する予定ではあるが、それまでScanSnapの品質を維持できることは大変喜ばしいことだ。

また、ローラーの表面に紙の細かいカスがへばり付くので、アルコールで擦らず軽く拭く作業も実施している。

これは、ローラの摩耗による食いつき不良と、表面がツルツルになる現象を押さえるためでもある。

# MacBook Air SSD 512GB を購入

---

## 1. 目的

Apple純正 **Samsung 512GB SSD for MacBook Air Mid 2012** 購入

SSDが64GBでデータの転送と保存が出来なかったので、交換用SSDを購入した。

256GBでよかったのだが、ネットで売り切れてしまっていたために、512GBを購入した。

これに一からソフトを入れて築き上げていく。

## 2. 設定

Vintage Computer Inc. **59,800円**

注文から3日で届いた。

おそらく香港からの発送。

サイトでは、Lion Recovery Disk Assistant をAppleからダウンロードして、OSをインストールしろと書かれてある。

さっそくリンクから落とし、インストール。

OSは、USBメモリに保存してもよかったのだが、USB外付けHDDを選んだ。

しかし、これは失敗だった。

専用の精密ドライバーが2本付属していたので、簡単に裏蓋を外せる。（ネジ10本）

SSDは1本のネジで留めてある。

外せば、基板はすぐ抜けて簡単。

後は、ドライバーでネジを締めながら裏蓋を元に戻す。

そして、USB外付けHDDを接続して、optionキーを押しながら起動。

ここで復元用のディスクが選べるのだが、肝心のパーティションを切ったディスクが選べない。

USB外付けHDDを1パーティションにするか、USBメモリーを初期化して保存すれば使えたいらしい。

しかし、インターネット復元ができるようなので、ダウンロードする時間はかかったが、OSはインストールできた。

## 3. 実践

Time Machineで復元すれば、時間はそうかからない。

しかし、ここは一からインストールと設定をしていくことにした。

約1日かけて元の状態に戻し、データ類も転送した。  
使用領域は344/499GBになり、150GBほど空き領域がある。

さらに、今朝届いたWindows 8 ProをWindows 7に上書きアップグレードを施した。  
今までは64GBしかなかったのだが、今は512GBもあるので、Windows 7の仮想マシン  
やWindows XP、Windows 98、Windows 95、Windows 2000の仮想マシンもMacBook Airに  
移動した。

Linuxもインストールできそうだ。

これで、デスクトップからノートパソコンへの依存度が高まった。

もう、USBメモリを常時装着することもないだろう。

後の懸念は、バッテリーの持ち問題だけになってしまった。

これは解決できないので、不問とする。

# Mac mini Late 2012 を購入

---

## 1. 目的

新しいMac miniを買ったので、こちらに作業を移行する。

## 2. 設定

Mac mini 127,100円

2.6GHzクアッドコアIntel Core i7

16GB 1,600MHz DDR3 SDRAM - 2x8GB

1TB Fusion Drive

買った理由は、

クアッドコアにしたかった。

メモリーが16GB必要だった。

HDDはSSDを有効活用したい。

以上から、今回の購入に踏み切った。

以前から狙っていた構成だ。

Fusion DriveもメインはSSDを使用し、使わないファイルはSATAのHDDに保存される。

ドライブも2ドライブ表示されるのではなく、1ドライブのみの表示になっている。

だから、大容量のHDDを使った理想的な運用が出来る。

Appleさん、えらい。

Fusion Driveとは、2ドライブを1ドライブのように使える機能。

ハードウェアで操作しているのではなく、ソフトウェア操作らしい。

だから、旧Macでも使えるのではないかと思う。

ただ、Appleが仕様を公開していないので、現在のところ使えない。

OS Xでは、サポートしていると思われるが、設定方法がわからない。

しかし、サードパーティーが今後参入する可能性はある。

## 3. 実績

旧Mac miniのTime Machineを使わず、新規に構築を行い、以前の環境を約1日で復旧した。

1日中つけっぱなしで、音楽を流している。

TBSのOTTAVA（クラシック番組）が今のところお気に入り。

# 旧Mac miniの運用

---

## 1. 目的

新しいMac miniを買ったので、旧Mac miniを有効活用する。

## 2. 設定

OS Xサーバーにしようと、Mountain Lion Serverを1700円でApp Storeから買った。Serverをインストールして、設定を試行錯誤でやってみたが、Mac miniが起動しなくなった。

起動時に、設定したユーザーが蹴られてしまうようだ。

しかたがないのでSSDをフォーマットして、Mountain Lionを再インストールした。

OS Xサーバは個人的に嫌われているようなので、止めにした。

所持しているブレスレットを付け替え再度考えてみたら、音楽サーバーとファイルサーバーの代替えが出来ることを思いつき、これに決めた。

## 3. 実績

内蔵HDDの設定を128GBのSSDに転送し、久しぶりに旧Mountain Lionの環境に戻った。

復旧作業と新規ファイルの転送とソフトの設定など、まる2日かかって使いこなせそうなシステムに回復できた。

NASのファイルをSATAのHDDのコピーするのに時間がかかり、主に寝る前にコピーしながら、朝方起きたときに再設定するという作業を繰り返した。

CDからエンコードしたMP3とラジコのデータをHDDの保管し、iTunesとSongbirdに登録する作業に時間がかかった。

自炊した書籍のデータは、新Mac miniでの運用にしたので、メイン作業は新Mac miniになる。

旧Mac miniは、音楽専用のマシンとなった。

それでもHDDの空き容量はまだあるので、使わないアプリをインストールする予定だ。

# Pocket WiFi LTE を導入

---

## 1. 目的

MacBook Airを外へ持ち出すとき、WirelessGateが繋がる場所しか持って行けない。  
どこでも使えるように、Pocket WiFiを導入する。

## 2. 設定

EMOBILEのPocket WiFi LTEに決めた。

元々屋内で使う場合が多く、UMAXでは屋内に弱いと聞く。

2年契約で、月々3880円。

以前は、iPad初代購入前に契約したことがあるが、5400円ほどしたので、途中で解約した。

今回は、元が取れると思う。

また、iPhone5でデザリング解禁になったが、Pocket WiFi LTEのほうが速いと思われる。

## 3. 実績

MacBook Air (Apple)

ZENBOOK (ASUS)

iPad 4th WiFi 64GB (Apple)

iPad mini WiFi 64GB (Apple)

nexus7 16GB (ASUS)

一気に5台も増えたので、無線ルータをPocket WiFi LTEにして正解だった。

2012年12月30日時点。

地元での持ち出しは、MacBook AirとiPad mini WiFi 64GBとnexus7 16GBである。

nexus7については、セミナーを開くことになっており、そのために偶然購入した物。

まだ使いこなすまでにはいかない。

iPad miniで充分用が足りる。

都心に出る場合は、iPad mini WiFi 64GBとnexus7 16GBを携帯するようにした。

スケジュール確認とToDo処理が主役だが、地図検索も役に立つ。



# MacBook Pro 13インチ Retina を購入

---

## 1. 目的

MacBook Proをサブマシンとして使うのではなく、メインマシンの2台目とする。  
使用目的をMac miniと完全に分離する。

## 2. 設定

Mac miniには全てのソフトをインストールするが、MacBook Proにはソフトのインストールを限定する。

机の配置がL型なので、正面にMac mini、サイドにMacBook Proを配置した。

こうすると同時に使えるため重宝する。

通常使用は無線LANでの使用になるが、ネットからのダウンロードやアップデートに時間がかかるので、有線LAN使用にした。

Thunderbolt-Ethernetアダプターが標準で付属していたため、追加購入する必要なし。

## 3. 実績

ちょこっと調べ物とか、音楽をタイムリーにならすのには最適である。

ふたを開いて数秒で使えることが、一番の長所かもしれない。

使い方としては、メインのMac miniと同等のことを処理させている。

バックアップや共有ファイルの保管はMac miniにて運用しているが、通常使用はこちらで充分である。

ムダな買い物だと最初は思っていたが、机まわりのレイアウト替えて活かされるようになった。

MacBook Airの出番が少なくなったのは、少し残念に思う。

# ScanSnap iX500 を購入

---

## 1. 目的

ScanSnap S510をある団体に寄贈するため、新機種のScanSnap iX500を購入する。

## 2. 設定

机まわりをレイアウト替えしたため、パソコン機の置き場所も一新した。

従来はサイド机においていたのだが、メインデスクの上の段に移動した。

スキャンする場合、腰を上げないと出来ないが、そう頻繁にすることもないのでよしとする。

設定は簡単に終わったが、iPhoneでのじかスキャンがうまくいかない。

MacBook Airで設定したときはうまくいった。

しかし、日をあらためてスキャンをしようとする、ScanSnapが認識されない。

いろいろ試してみたが、うまくいかない、iPadへの転送は別の方法で行うようにした。

## 3. 実績

スキャン時間が短縮出来るようになった。

紙詰まりもなく、スムーズだ。

AmazonでPLUSの裁断機PK-513Lも購入したので、手作業で本をばらすこともなくなり、楽になった。

iPadへスキャンした紙は、MacのDorpbboxへ放り込み、iPadでDropboxを開き、GoodReaderで読み込む。

これが一番スムーズである。

アプリしだいでは、直接iPadへ転送できる物もあると思うので、そのへんは要チェックである。

Macで一番懸念していた検索可能なPDFに変換できる機能も、ABBYY Scanが付いてくるので5万円もするAcrobat PRO for Macを買わなくてよかった。

今回の機種は、MacとWindowsが両方インストールできるため、お得感がある。

以前は各OS用に機種が違ったため、今回は導入しやすいと思う。

# ToDoソフトの使い分け（まとめ）

---

## 1. 目的

MacのソフトとiPad・iPhoneのアプリでToDo管理の使い分けをはっきりさせる。

MacとiPadとiPhoneでそれぞれ連携して管理できるアプリ、ソフトをそれぞれの用途に分類し使い分ける。

## 2. 設定

MacとiPadとiPhoneでそれぞれ連携して管理できるアプリ、ソフトの使い分けは、ToDo・・・日々の行動を管理する。

OminiFocus・・・プロジェクトと予定を管理する。

Things・・・アイデアと備忘録を管理する。

それぞれクラウドでどの機種も同期できるので、管理しやすい。

個人的にアプリ、ソフトはこの3つに決めたが、手持ちソフトの中で管理すれば、これらに限らなくてよい。

## 3. 実績

### ToDo

毎日のやるべきこと、特に今日すべきことを記入する。

今日すべきことを思い出したら、追記しておく。

人間はすぐ思いついたことを次の行動で忘れてしまうので、忘れないためにも備忘録として書いておく。

MacとiPadとiPhoneのすぐ入力できる機器をその場で使いこなし、記録と管理しておく。

終わった事項はその場でチェックしなくても、もうその事項は終わっているの、後日かその日のうちに完了チェックしておけばよい。

### OminiFocus

プロジェクト、やるべき大まかな仕事と総称してやるべきことを書いておき、細かな具体的な事項を記入していく。

やるべき項目が増えていくので、プロジェクトに下にどんどん追記していく。

完了のチェックをすることが目的ではないので、たまに見返したときチェックすればよい。

### Things

思いついたアイデア、まだ煮詰まっていないやるべきこと、それらをどんどん追加しておく。

また、決して忘れてはいけない心構えを書いておく。

書いておけば、また見たときに思い出す効果がある。

## Apple Cinema HD Display (23インチ)

---

### Apple Cinema HD Display (23インチフラットパネルモデル) の中古品を購入

最近はやりのぎらつくようなディスプレイではない。  
目に優しく、しっとりとした感じのディスプレイだ。

ここ1ヶ月ほど使ってみたが、目が疲れなような気がする。  
いつも、夜中や朝方にディスプレイを見ているが、特に目が疲れるようなことはなく、自然な感じ。  
中古で2万数千円ぐらいだった。  
この買い物は正解だったようだ。

1920X1200サイズの縦長も、Macに合っていて充分すぎる。  
iMacをいつも視野に入れていたのだが、このディスプレイを買ってからMac miniで満足できるようになった。

## 所有機器

---

### 1. Sycom ミドルタワー Pentium 4 3.0GHz

HDD 500GB /メモリー2GB

OS Windows XP Professional

OS Windows Vista Ultimate

### 2. DOSPARA Galleria JD ミニタワー Intel Core Duo 3.0GHz

HDD 1TB /メモリー4GB

OS Windows 7 Professional

### 3. 周辺機器

#### モニター

BenQ 24インチ . . .メイン (Mac+Windows)

I.O DATA 19インチ . . .サブ (Windows+Town)

DELL 19インチ . . .休止中

三菱 15インチ . . .休止中

#### パソコン自動切替器

ラトック REX-230UDA

サンワサプライ SW-KVM4LU

#### HDD

Logitecケース+2TB (USB) . . . Buffaloルーターとの接続で簡易NAS化

CENTURYケース+2TB+1TB (NAS)

CENTURYケース+1TB+500GB (USB)

I.O DATA 320GB (USB)

#### プリンター

ネットワークHub名人 CNUH4P (USBプリンター切替器)

Canon レーザープリンター LBP3300 (USB)

Canon インクジェットプリンター iP4500 (USB)

#### ドキュメントスキャナー

Fujitsu ScanSnap S510 (USB)

#### スキャナー

Canon LiDE60 (USB)

## Windowsの主なソフト

---

OSは、Windows 7 Professional、XP modeを使いたいために購入。

しかし、XP modeは全く使用せず。

Windowsは、Windows 3.0 Multimediaから、Windows 8 Consumer Preview版まで。

途中、WindowsMeとVistaは未使用。

数々のオンラインソフトを試行してみるため、1年に一回はHDDをフォーマットする。

### Office2007

仕事に使用しない。

WordとExcelも入力はほとんど行わない。

データを流し込むときとデータをクラウドで流用するときだけに使う。

Outlookは、PDA時代に母艦のソフトとして使っていたが、メールをGoogleで一括管理したため、使わなくなった。

その時代のメールは、秀丸メール（鶴亀メール）を使用。

### 一太郎2012 承

一番使用頻度は高いのだが、直接書くことはしない。

エディタから文章を、コピーペーストした後、文章を整形するだけ。

あとは、印刷のみ。

### 花子2012

昔は、Windows Drawというソフトを使っていたので、いざというとき使えそう。

### JUST PDF2

一太郎文書をPDFに変換するとき、必須のソフト。

これも使用頻度の高いソフト。

### Adobe Acrobat 9

本や雑誌をPDF（自炊する）にするとき、必要なソフト。

### ScanSnap Manager（S510）

人生で一番重要な気功の本を、PDAに取り込み、いつでも見られるようにしたいため、ScanSnap S510を買った。

その後、iPhoneを購入しPDFに目覚め、iPadの発表を皮切りに長年たまった本や雑誌をすべてPDFにしようと決心した。

かなり悩んだが、大事な本を切り裂いたら、一気にPDF化の道が見えてきた。



これが、iPad発売の4ヶ前である。

初期の本は、取り込み解像度がノーマルなのでくっきりしない。

これは解像度をあげるとよいが、ファイル容量が増加する。

それから何でも取り込むようになり、中学時代の年賀状も取り込み、やっと処分できた。

過去の思い出が再発見できるので、処分はともかく、オススめである。

## アイデアツリー

誰でもしているインターネット情報の印刷をやめる。

最初は、ブラウザで保存したが、あとで参照しないことが多すぎて、文字情報だけをテキストファイルで保存した。

そのとき使用したソフトが、「超仕事人」だった。

検索は便利だが、リアルタイムさに欠けるため、のちにアウトラインプロセッサを試してみた。

かなり使いやすく、参照したい文字データもすぐに見つかる。

写真や図は貼付けできないのだが、コピーペーストしておけば覚えなくてよい。

シェアウェアのパスワードやサイトのIDとパスワード管理で重宝した。

## 秀丸エディタ

Windows3.1時代から使っている老舗のソフト。

一時期浮気もしたが、いまだに使っている。

ワードや一太郎のデータは将来読めなくなるが、テキストファイルは「永遠に不滅です」

## Launch USB Server

USBプリンター2台をLANへ切り替えるソフト。（ハードが必要）

Windows7に対応していないので使用をやめたが、昨年アップデートで復活。

## 1Password

iPhoneやiPadではおなじみのソフト。

Windows版の出現やDropbox対応で、いっきに主役へ。

Firefoxとの連携では、手放せない存在。

## TeraCopy

NASやHDDへファイルをコピーするとき超便利。

転送速度も速い。

NAS問題のさなか、使うようになった。

## WinRAR

圧縮解凍ソフトは様々なものを使ってきたが、現時点はこれが便利。  
スキャンしたマンガをZIP圧縮するときに使用。

## Radika

インターネットラジオradikoを視聴・録音ができるソフト。  
予約録音ができるのでずっと使用してきたが、夜中の録音はパソコンがうるさいため、今はファンの音がしないMac miniで、ラジ録2を使って録音。  
主に、古い洋楽とかも聞ける「くり万太郎のオールナイトニッポンR」を録音。

## MediaMonkey

iTunesと同じタイプの音楽プレイヤー。  
今は未使用。

## Songbird

録音したradikoデータを聞くための音楽プレイヤー。  
今は、Mac版のSongbirdを使用。  
mp3データをNASに入れると、ライブラリが自動で更新されるため、今も手放せない。  
。

## iTunes

NASへ保存したCDの楽曲中心に使っていたが、現在WindowsのiTunesは未使用。  
今はMacのiTunesで聞いている。

## TMIDI Player

パソコン通信時代、ニフティ・サーブのフォーラムからダウンロードしたMIDIを聞くためのMIDIプレイヤー。  
このフォーラムでは、著作権のある音楽をアップロードすることが許されていた。  
アニメからクラシック、自作曲まで、様々な曲をダウンロードできた。  
このソフトには、カラオケのように画像や歌詞表示できる機能がある。  
Macには同様のソフトがまだ無いため、今も手放せない。

## GOM PLAYER

動画専門のプレイヤーソフト。

## Mozilla Firefox

タブ形式を採用していたので、2年前から使いだした。  
ブックマークをMacとWindowsで同期できる、アドオンの「xmarks」が便利。  
1passwordとEvernoteのアドオンが使えるため、第一線で活躍。

## Sleipnir

IE、Lunaspice、Sleipnirの順に使い続けてきた。  
IEと同じように表示され、レイアウトの崩れが少ないので、サイトを見るとき使い分け  
ている。

## Evernote

気になるサイトはすべて保管。

## Dropbox

WindowsとMacの共通データを保管。  
特に、iPhoneからテキストファイルを保存する専用の場所になっている。

## SugarSync

ドキュメントデータの専用保存場所。

## VMware Workstation 8

Windows2000時代から使い続けている仮想化ソフト。  
古いOSを起動してみたものの、用途はほとんどなかった。  
ほとんど、使わなくなったソフトを入れるだけ。

見直されたのは、ロト6やナンバーズのソフトに熱中したときから。  
宝くじ解析専用になってしまった。  
また、試験的にソフトをインストールするときは使用した。

Mac版のVMware Fusionはフル活用している。

## うんづ

富士通パソコンFM-TOWNSのエミュレーター。  
お嫁に出したFM-TOWNSを出戻りさせるきっかけをつくったソフト。

お気に入りだったのに、捨ててしまったCD+Gをもう一度聞きたい。  
ずっと気になっていた「ON THE CUTTING EDGE」を探し出し、輸入業者から新品を

購入してしまった。

今は、実機のFM-TOWNSで見ている。

CD+Gとは、絵が出るカラオケCDのこと。

# ASUS ZENBOOK Core i7 128GB 中古を購入

---

## 1. 目的

WindowsPCはもう買わないつもりだったが、仕事で使うこともあろうと思い中古品を購入。

## 2. 設定

MacBookを所持すると、アルミのユニボディがお気に入りとなったため、ASUS ZENBOOKを選んだ。

発売時期は2011年であるが、1年使用とSSDが128GBあったため、購入に至った。

中古価格は、69,800円。

安くはないが、SSDの起動が速いという理由でこれがベストだと思う。

## 3. 実績

今のところ特に使うことはない。

とりあえず、Office Home & Business 2010とVMware WorkStation 9（アップグレード）をいれた。

現在は、Hotmailのチェックに使っている。

## WindowsからMacへ

---

### 1. 目的

Macで作成した資料をWindowsで変更する。

Macでダウンロードしたファイルを、Windowsにコピーする。

### 2. 設定

Windowsのワークグループ名を、Mac側にも同じワークグループ名で設定する。

(システム環境設定ーネットワークー詳細ーWINSーワークグループ)

Macのファイル共有を設定する。

(システム環境設定ー共有ーファイル共有)

MacにWindowsユーザー名を登録する。

(システム環境設定ーユーザーとグループ)

### 3. 実績

WindowsからMacへアクセスするには、上記設定をしておけば問題ない。

### Windows8 Consumer Preview版

仮想化マシンにインストールしてみた。

インストール時間は、ISOファイルからの導入だったので、速い方。

メトロにSkyDriveのアイコンがあり、すぐ接続できる。

Acrobat Readerをインストールしていなかったなので、開けなかったが、Wordファイルはブラウザ経由で編集できる。

通常、WindowsXPの場合は、ドラッグドロップでMacにファイルがコピーできるのだが、Windows8はまだ無理だった。

VMware Toolsの問題かもしれない。

問題点が2点

- ・アプリケーションが終了できない

どうもアプリケーションを終了するボタンがないようだ。

メトロに戻って、別のアプリケーションを起動する概念らしい。

メトロへの戻り方は、画面の左下をクリック。

- ・終了のやり方がわからない

いろいろ調べてみたら、画面の右下をクリックすると、右端にアイコンが出てきた。

設定をクリックしたら、シャットダウンが出てきた。

Adobe Reader Xを試しにダウンロードしてみた。  
メトロからIEを選び、アドレスバーに文字を入力。  
ダウンロード完了すると、画面が勝手にデスクトップへ切り替わる。  
インストールが終了し、デスクトップにアイコンが登録された。  
メトロにも表示されたが、メトロからは起動できない。

### 1. 目的

MacとWindowsから、読み書きかできること。

### 2. 実績

Century NAS BOXを購入したとき、Windows7で設定し、大量のファイルをNASへ保管した。

このとき、MacはOSがSnow Leopardだったので、Macから読み書き可能だった。

OSをLionにアップグレードした後、MacからNASのフォルダに入れなくなった。

事前情報を知らなかったので、あれやこれやの方法でアクセス可能を考えては試行錯誤した。

当時、ネット検索を欠けても解決法がなく、ネットワークアクセス方法がAppleによって変更されたことを知らなかった。

#### 解決策その1

**Mac**をデュアルブートにして、Snow Leopardもインストールしておく。

Snow Leopardなら、NASへのアクセスは問題ない。

実際は、外付けHDDをUSBでつなぎ、Snow Leopardをインストールした。

しかし、再起動するのは面倒すぎる。

#### 解決策その2

余っていたUSBのHDDケースと、バッファローのルーターを使って、簡易**NAS**が使えることに気がついた。

1TBのHDDをケースにいれ、Windowsから設定。

その結果、WindowsとMacから読み書きできた。

その後、本家NASのHDDを外し、容量を2TBまであげた。

メリットとして、LogitechのHDDケースには電源の自動ON/OFF機能がついていたこと。

このおかげで、ON/OFFの面倒さがなくなり、音楽データがいつでも聞けるようになった。

簡易NASには、

iTunesとSongbirdとQuicktimeから聴けるように、CD音楽や録音したラジコデータが



ある。

また、自炊した200冊を超える本や雑誌も、E-honアプリケーションで読み放題。DVDから読み込んだ動画も入れた。

本家NASにバックアップするソフトやデータ類も保存できる。

おまけに使わない時は、勝手に電源が切れる。

### 解決策その3

Mac Lionに対応したNASのHDDを買う。

ちまたにはいろいろ売られているが、今は不自由していない。

### 解決策その4

仮想化サーバーや仮想化クライアントを使用する事により、手間は増えるが確実にNASへアクセスできる事がわかった。

現時点では、ほぼWindows PCを使用しなくてもできる事がわかったので、Mac主導に移行できる。

ただ、NASのバックアップからみると、マシンの負荷を無くす目的で、Windows PCを稼働しておくという選択肢がある。

## MacからWindowsへ

---

### 1. 目的

Mac LionからWindows7の共有フォルダにアクセスしたい。

### 2. 設定

Windowsのワークグループ名を、Mac側にも同じワークグループ名で設定する。

(システム環境設定→ネットワーク→詳細→WINS→ワークグループ)

Macのファイル共有を設定する。

(システム環境設定→共有→ファイル共有)

MacにWindowsユーザー名を登録する。

(システム環境設定→ユーザーとグループ)

Windowsの特定フォルダを共有設定する。

### 3. 実績

MacのLionに表示されるWindows7のコンピューター名をクリックしてもアクセスがはじかれる。

MacのSnow Leopardでは、Windowsにアクセスできた。

しかたないので、Macの「サーバー接続」を使った。

WindowsのIPアドレスを調べて、「smb://192.168.1.5」と入力。

これでアクセス可能になったが、釈然としない。

やっぱり、Windowsのコンピューター名からアクセスしたい。

## USB 3.0 RAID HDDケース（HDD2台）を購入

---

### 1. 目的

LAN、NASで転送するファイルのコピー速度を速くする。

Windowsのみで運用していたNASを廃止し、Macでバックアップの運用をする。

### 2. 設定

RATOKの3.5インチHDDケース（RS-EC32-U3R）をAmazonにて7046円で購入。

内蔵する3.5インチHDDは、Seagate 3.5inch 3.0TB ST3000DM001/NをAmazonにて9780円で購入（2台）。

RATOKの3.5インチHDDケース（RS-EC32-U3R）は、WindowsとMacの両対応でRAIDが使える機種。

通常のSINGLEモードでは6TB迄使えるが、ここは将来の故障も考えてRAID1（ミラーリング）で組むことにした。

上限は、3TB迄となる。

RAID1への変更は、本体後ろのボタン設定で行う。

いきなり設定するのは難しく、マニュアルを読まなければRAID1への変更はできない。

また、RATOK（RS-EC32-U3R）はUSB3.0で接続できるのため、ファイル移動の時間短縮が望める。

### 3. 実践

Macのディスクユーティリティで、Mac OS拡張（ジャーナリング）を使いHDDをフォーマットする。

付属のドライバーが付いていたが、RATOKのサイトで「RAID監視マネージャー for Mac」をダウンロードした。

ファイルをWindows専用のNASからいきなりMacにつなげてRATOK（RS-EC32-U3R）に転送することは出来ないので、まずはWindows機を起動して、NASから外付けHDDへ転送した。

次に、Macを起動して外付けHDDからRATOK（RS-EC32-U3R）に転送した。

所用時間は丸2日かかった。

NASから外付けHDDへ転送するのに1.5日かかった計算になる。

これだから、NASは・・・使いづらいと思うのである。

外付けHDDからNASへの転送は、USB2.0経由であったが半日で完了した。

あとは、HDD1の転送されたファイルをHDD2へリビルドするため、5時間ほどかかる模様。

ディスク容量は、2.7TBあった。

これで、USB3.0の恩恵を受けられるようになる？

Windowsの場合は、「RATOC Fast USB」が使えるそうなのでさらに速いのか？

## USB 3.0 ポータブルHDDを購入

---

### 1. 目的

LANでファイルを転送するより、USB3.0で転送する方が速いので導入した。

### 2. 設定

Ma mini、 MacBook Air、 MacBook ProがUSB3.0を装備しているので、これように購入した。

Mac miniには、USB3.0ハブを中継し、使い勝手をよくした。

- ・ Lacie 2.5インチ ポータブルハードディスク rikikiシリーズ USB3.0/2.0 1TB LCH-RK1TU3
- ・ WD My Passport for Mac 2TB (Mac用 TimeMachine対応 / USB3.0接続)

WDBKKF0020BSL-JESN

### 3. 実績

LANだと2日かかるファイルの移動が、4時間で完了した。

# Windows 2000 (VMware Fusion 4)

---

## 1. 目的

過去に使ったWindowsのソフトを再利用する。  
過去のWindowsデータを有効利用する。

## 2. 設定

VMware Fusion 4 に、**Windows 2000 Professional**をインストールする。  
HDDを8GBに設定。  
メモリを256MB → 512MBに変更。  
ネットワークアダプタ2を追加し、物理ネットワークに直接接続する。  
共有をオンにする。

Windows 2000 のインストールは、短時間で完了。  
しかし、画面解像度が16色から変更できない。  
VMware Tools もインストールできないので、画面も1280X768に拡大できない。

ネットを調べてみると、パッチが必要のこと。  
Windows 2000 用セキュリティ問題の修正プログラム (KB835732)  
以上のパッチを探して、インストールする。

Windows 2000 Service Pack 4 (SP4) も、インストールする。  
IE6も、インストール。

仮想マシンのハードウェア設定で、共有フォルダにDropboxのフォルダを追加する。

## 3. 実績

過去のデータを再利用するため、以下のソフトをインストールした。

・ **InfoStudio** (旧名：超仕事人) — シェアウェア  
テキスト形式で保存し、時系列やGREP検索で管理できる情報管理ツール。

標準の保存場所は"C:\%bun" であるが、仮想ディスク内での利用では有効活用できない。  
ワークシートの保管場所を、Dropboxのdata\%InfoStudioフォルダに変更し、直接参照できるようにした。

ネット情報をテキストファイルに保存してあるので、いつでも再利用できる。

忘れてしまった情報を、思い出すことが出来る。

Macのソフトへの流し込みや新たなデータベースの作成が出来るかもしれない。

#### ・ **IdeaTree** — シェアウェア

独自形式での保存、アウトラインプロセッサによる情報管理ツール。

"設定—ファイル—前回ファイル"を記憶のチェックを入れておけば、標準保管場所の設定は必要ない。

InfoStudioと同じような利用方法になると思う。

ただ、Windowsは今後も使うので、Macソフトへの全面移行は極力さげたい。

#### ・ **eMemoPad** — フリーウェア

独自形式での保存、アウトラインプロセッサによる情報管理ツール。

デフォルトのデータ保存フォルダを、Dropboxのdata¥eMemoPadフォルダに変更したいが、設定の保存ができない。

全般タブの「作業フォルダごとの設定を有効にする」のチェックをオンにした。

バックアップタブの「バックアップを作成する」のチェックを外した。

これで起動時のファイルを開くで、eMemoPadフォルダにアクセスできるようになった。

過去のデータが参照できるようになった。

当時は、書籍の情報を手入力でシコシコと入力するしかなかった。

現在のように、PDFで取り込みながらコピーしてデータを流し込むことが出来なかった。

データとして、「東洋医学の知恵」などの貴重な資料がある。

#### ・ **NanaTerry** — フリーウェア

独自形式での保存、アウトラインプロセッサによる情報管理ツール。

NanaTreeの派生版。

NanaTreeの開発が終了したので、新たに立ち上げられた。

## Windows 98 (VMware Fusion 4)

---

### 1. 目的

Windows 9X系のCD-ROMソフトとCD-ROMゲームを動かしてみる。  
CD-ROMは、イメージファイルができればベスト。

### 2. 設定

Windows 98のFDディスクでは、HDDをフォーマットできない。  
Windows 95のFDディスクを使う。

USBのFDDドライブをMacに接続する。  
VMwareでは、FDDをイメージでしか読んでくれない。  
実FDディスクでは不可能。

MacのディスクユーティリティでFDディスクをイメージファイル化。  
イメージの拡張子が、dmgになっており、VMwareでは読めないなので、imgに書き換えた。

Windows 98のCD-ROMをMacに挿入し、VMware Fusionで新規作成。

途中、デバイスの追加でフロッピードライブを追加して、「Windows95.img」を起動。  
MS-DOS画面で、"fdisk"コマンドを入力。  
大容量サポートを"y"にして、ディスクの領域を作成し、FDイメージを再起動。  
今度は、Cドライブをフォーマット、"format c:"。

終わったら、FDディスクを「Windows98.img」に変更し、再起動。  
Windows 98のCD-ROMを読む為、1の"Start Computer with CD-ROM Support"を選ぶ。  
アクティブディスクをA:¥から"D:"に。  
"win98¥setup"を入力して、Windows 98のインストール開始。

Windows 98をインストール後、VMware Toolsをインストール。  
大画面がサポートされ、マウスドライバーも使えるようになったが、サウンドが出ない。  
これでは、ゲームが出来ない。  
調べてみると、Creative Ensoniq Audio PCIが必要らしく、「ensw9xup.exe」をダウンロード。  
Windows 98でインストールすると、音が出るようになった。



Internet Explorer 6 Service Pack 1をインストール。

Windows Media Player 7.1も、インストール。

### 3. 実績

#### Doccaのパチンコハウス — シェアウェア

昼の部と夜の部があるパチンコシュミレーション。

ハンドルを固定したまま、自動で打ってくれるのでラクチン。

久しぶりに打って見たら、連チャンに入り10万円まで稼げた。

お店は5店舗あり、各店舗でパチンコ台の種類が違う。

1店舗に、16台同じ機種がそろっている。

換金したら、持ち金としてストックされる。

プレーヤーは4人まで同時に打てる。

#### Doccaのパチスロハウス — シェアウェア

パチンコハウスのパチスロ版。

店舗は、7店舗までである。

#### 『Pia♥キャロットへようこそ!!2』

18禁ソフトは、これしか持っていなかったもので、Cドライブにインストール。

MIDIデータは再生できなかったが、ゲームの方は音が出る。

WAVEサウンドだけは、大丈夫のようだ。

とりあえず動いたので、ゲームは中断。

暇なときにやろう。

## Windows 95 (VMware Fusion 4)

---

### 1. 目的

Windows9X系のフリーウェア・シェアウェアを動かす。

既に使わなくなったソフトウェアの資産を生かす為、Windows95を使う。

ゲームが主になるだろう。

### 2. 設定

<Windows95のインストール>

Windows 95のCD-ROMでは、インストールを完了できない。

Cドライブ、もしくは、Dドライブにコピーしてからインストールする。

ディスクイメージ「Windows95B.iso」をマウント。

デバイスの追加でフロッピードライブを追加して、「Windows95.img」を起動。

MS-DOS画面で、「fdisk」コマンドを入力。

大容量サポートを"Y"にして、ディスクの領域を作成し、FDイメージを再起動。

今度は、Cドライブをフォーマット、「format c:」。

終わったら、FDディスクを「Windows98.img」に変更し、再起動。

Windows 95のCD-ROMを読む為、1の"Start Computer with CD-ROM Support"を選ぶ。

CD-ROMでインストールすると完了できないので、CドライブにWindows95ファイルをコピーする。

C:>で、「MD win95」を入力し、CドライブにWIN95ディレクトリを作成する。

EドライブにWindows95のCD-ROMがあるとして、copyコマンドでCドライブにコピーする。

C:>で、「copy E:¥win95¥\*. \* C:¥win95」と入力する。

Windows95をインストールする。

"c:¥win95¥setup /IS"で、インストール開始。

ネットワークとインターネットを使えるようにするため、途中の「セットアップ方法」では「標準」ではなく、「カスタム」を選ぶ。

途中、ネットワーク設定で、「クライアント」と「プロトコル」を追加する。

「ファイルの共用」と「プリンタの共用」も、チェックを忘れてはいけない。

<Windows95のセッティング>

Internet Explorer 5.5をディスクからインストール。

Windows Media 7.1をディスクからインストール。

VMware Toolsをインストールするが、ディスプレイドライバーがインストールされない。

VMware SVGA IIドライバーを手動でインストールする。

(設定方法は、画面にメモ帳で表示される)

Creative Ensoniq Audio PCI の、「ensw9xup.exe」をインストール。

再起動で、音が出るようになる。

### 3. 実績

## Windows 8 Pro (VMware Fusion 5)

---

### 1. 目的

新しもの好きなので、Windows 8 Proをインストールして使い勝手を見る。

### 2. 設定

通常は、新規インストールディスクを買うのだが、ジャストシステムで売っていてポイントが使えるために、2,454円で購入できた。

Windows 7からアップグレードしたが、Windows XPからアップグレードした方がライセンスに余裕があるために、慣れたら入れ替えつもりではある。

Mac miniかMacBook Airのどちらかに入れたいのだが、今回はマシンの速さを活かしたいのと、ノートパソコンでいろいろ検証してみたいので、MacBook Airに入れることにした。また、Mac mini Late 2012を予約注文しているため、こちらには新規のDSP版Windows 8 Pro(x64)を購入する予定である。

Windows 8 Proには、32ビット版と64ビット版が付いている。  
当然64ビット版をインストールした。

Windows 8 Proアップグレード版をクリーンインストールしてみましたが、ライセンス認証が「使用不可」になってしまい、クリーンインストールは出来ませんでした。

そのうちウラワザが出てくるかもしれません。

今回は、Windows 7に個人設定を引き継ぐ形でアップグレードを施しました。

ディスク容量が増えてしまい目的は果たせませんでした。特に問題なくスムーズにインストールできました。

### 3. 実績

#### Windows 8 Pro おまけ

Windows 8 Proに、**Windows 8 Media Center Pack**を期間限定で無料にてインストールできる。

<http://windows.microsoft.com/ja-jp/windows-8/feature-packs>

にて、メールを送ると無料のプロダクトキーを受け取れる。

2013年1月31日までにライセンス認証を受ける必要があるとのこと。

## Microsoft Officeのインストール不要

最初から、Microsoft Office 2013 Preview版が入っています。

ですから、当面はOfficeをインストールする必要はありません。

正式版が出るまでのおまけとっていいでしょう。

*ProgramFilesにOfficeの本体があるので、そのアイコンからショートカットを作ってデスクトップに貼り付けると普通に使えます。*

*ファイルをダブルクリックしても、起動します。*

また、Microsoft Office 2013 Previewが配布されていますので、Windows 7にインストールしてみるのもいいかもしれません。

## スタート画面

MacBook Airはタッチパネルではないため、Windows 8の恩恵を預かれません。

ただ、スタート画面はドラッグパッドで移動は出来る。

しかし、隣のソフトにはトラックパッドで切り替えられないため、使い勝手が悪い。

いちいち、左上角にカーソルを持っていかなければならない。

何とかならんか。

MacのMission Controlに慣れてしまったため、希望は、トラックパッドをすべらしてソフトを切り替えたい。

Appleに怒られるかもしれないけど、2本指ジェスチャーや3本指ジェスチャーを採用して欲しい。

# クラウドで一気に開花

---

## 1. 目的

クラウドコンピューティングによって、スマートフォンが開花した。  
パソコンはパソコン、携帯は携帯の時代は終わった。  
相互乗り入れの時代が来た。  
これを待っていたのです。  
ドキュメント、データ、スケジュール、ToDo、がどこからも見える。  
編集もできる。  
今、Macへ移行しているのも、これらを実践するため。  
Appleさんやってくれました。  
Windows陣営も、今後発展してくれるでしょう。  
期待してます。

## 2. 実績

### [スケジュール]

#### **Apple**のiCloudで管理

Macでは、「iCal」

iPhone・iPadでは、「カレンダー」と「Week Calender」「Pocket Informant」

Windowsでは、「iCloud Control Panel」と「Outlook2007（Outlook2010）」

現在のベストな環境。

これといった不満はなく、自然に、ごく普通に、使えている。

#### **Google**カレンダーで管理

Macでは、「iCal」

iPhone・iPadでは、「さいすけ」と「Pocket Informant」

Windowsでは、Firefoxブラウザと「Google Chrome」や「Sunbird」など

カレンダーやスケジュールは、個人の好みもあるので、これといった決まり事はない。

スマートフォンだと、短時間で入力できればよく、特にこだわりはない。

個人的には、Macで入力して、iPhoneで見えれば、それでよいような気がする。

## [メール]

### Gmailで管理

Macでは、FireFoxブラウザー

iPhone・iPadでは、「メール」

Windowsでは、FireFoxブラウザーと「Outlook2007（Outlook2010）」

メールは、Gmailに統一するとよけいな作業がなく、本当に安心できる。

FireFoxで管理すると、タグをピン留めできるので、いちいちブックマークから呼び出す必要がない。

## [ToDo管理]

### ・ Wunderlistで管理

Macで、Wunderlist

iPhone・iPadで、Wunderlist

Windowsで、Wunderlist

Wunderlistで統一したが、使い勝手はまだ発展途上。

今後に期待しましょう。

### ・ 2Doで管理

Macでは、「iCal」

iPhone・iPadでは、「2Do」

これが今のところ一番ベストの組み合わせ。

Googleを使いたいのだが、GoogleのToDoはまだ未熟。

### ・ ToDoで管理

Macでは、同期なし。

iPhone・iPadでは、「ToDo」をiCloudで管理。

ToDo Onlineを利用すれば、Macともsyncできるらしいが、有料。

### ・ OmniFocusで管理

Macでは、「OmniFocus」

iPhone・iPadも、「OmniFocus」

統一できて使いやすいそう。

Cloudで管理できるため、おすすめ。

しかし、Mac版OmniFocusの価格が高い。

・ **Things**で管理

Macでは、「Things」

iPhone・iPadも、「Things」

統一できているのだが、Cloud管理がない。

WiFi経由での同期は、面倒だ。

**[日記]**

・ **Day One**

Macでは、「Day One」

iPhone・iPadも、「Day One」

毎日、いや好きなときにメモできます。

1日の中でも書き込みごとに分けられるので、非常に便利です。

とくに、iPhoneですぐ書き込みできる事が素晴らしい。

メモやアイデアでもいいし、日記にもなります。

自分への戒めなんか書いておくと、あとで読み返しできます。

日記は付けない方ですが、このアプリなら続けられます。

各アプリは、iCloudとDropBoxで同期します。



# iPhone

---

## 1. 目的

iPhoneの使いこなし方法を試行錯誤する。

最適な方法は、アプリやインターネット環境に左右されるからである。

## 2. 実績

### 文書管理

気になった事柄は、すべて文字入力する。

何でも打ち込んでおけば、帰ってからパソコンで、追記や文字情報をほかのソフトに流し込む事ができる。

短文登録や完結型の文章は、Evernoteが最適である。

しかし、完結でなく、文章が続く場合は、「メモ」やほかのアプリが便利。

iCloud、Google Doc、Dropboxを利用すればよい。

もちろん作成形式は、プレーンテキストが基本。

続きをいつでも追記したり、修正できたりするからである。

起動や処理や保存も速い。

### メール管理

会社から帰宅する時間内にメール処理。

見たくないメールは、2秒以内に削除。

気になるメールは、斜め読み。

残したい情報がなければ、ゴミ箱へ。

または、アーカイブ保存。

ブラウザを立ち上げたい内容があれば、そのメールは破棄しない。

帰ってからパソコンでじっくり見る。

そのほとんどが、EvernoteでWebクリップする内容だからである。

### 列車管理

列車の時刻表代わりに使用。

あと何分で列車がくるかカウントダウンしてくれる。

空き時間を管理しているときに必須アプリ。

### 電子書籍

自炊本より、「あれなんだっけ」というように、すぐ参照できる。

電子書籍が安い。

RSSをチェックしていると、85円セールしている場合があり、読んでみたいなと思えば、すぐ買える。

さらに、iPadで同じ書籍を買っても追加料金はなし（タダ）。

必要なところだけみれば、あとは消してかまわない。

読んでいない本もチラホラあるが、書籍が安いので自分を許せる事が多い。

1500円の書籍なら、意地でも読んでしまうだろう。

## カード管理

現金の管理は煩わしくてやめたが、カード使用だけは管理をしている。

だから、同じスーパーでしか買わない。

ネットで買うときも、同じカードを使用する。

月末にいくら使ったか管理できるので、この方法にたどり着いた。

その他のショップでは、現金払い。

大物は、ショップでは買わず、ネットなどでカードを利用。

家計簿管理のアプリは、いっぱいあるが、現金管理は大変。

その点、カード使用だけ管理していれば、誰でも管理できる。

現金管理していても、節約にはつながらない事が経験でわかった。

入力する事に必死で、現金管理ができないのである。

だから、3ヶ月続ければ、現金の管理も頭で把握できる。

## アプリ管理

アプリが増えてくると、カテゴリー別にフォルダーへいれておくのだが、まず使わない。

だから、以下のようにした。

- ・ホームの1画面目には、Apple標準のアプリを置いたままにする。
- ・ホーム2画面目には、毎日使うアプリだけを置いておく。
- ・スキマはあけないで、満杯にする。
- ・ホーム3画面目には、たまに使うアプリだけにし、フォルダーは作らない。
- ・4画面以降には、カテゴリー別にフォルダを作り、アプリを放り込む。
- ・ゲームはしないので、最終画面にフォルダを作っておく。

自分では、こんな管理方法にたどり着いた。

しかし、雑誌など読んで、また変わるかもしれない。

## アイテム管理

趣味のもの、収集品、覚書など、たまに確認したい項目がある。

そんなときは、「Bento for iPhone」。

気功治療の具体的な箇所などをデータベース化したり、Townsoftの管理に使っている。

基本項目は、Bento3 for Macで作り、入力をiPhoneやiPadで行っている。

この種のデータベースは、パソコンに張り付くより、機動性を生かしてツールで入力の方が効率が良い。

写真も、接続が面倒なデジカメより、iPhoneやiPadで直接撮った方が速い。

Bentoは、WiFi経由で相互乗り入れが簡単なため、同期しやすい。

無理して、Mac版、iPhone版、iPad版を購入したかいたがあった。

Excelとは違った管理ができるのもうれしい。

## 自分管理

また、BentoやFileMakerを使いたいが、何に使おうと迷っている方、おすすめの方法がある。

それは、自分専用の思考による逆引き辞典を作る事。

思考の逆引きは何でもOK。

迷ったときや何かしたいときの辞典として使えば、活用法はいろいろある。

自分なら、今日の宝くじの購入法とかを作ります。

今日の気分は、といった項目から購入方法・予想法を選びます。

普段思い出せない記憶を、パーソナルデータベースに入れておくのです。

例えば、

今日のお昼は辛いものが食べたいなら、辛いものデータベースを見ればよい。

麺が欲しいなと思ったら、麺データベースを検索するような感じ。

そうすると、お店のデータベースから選べるみたいな。

## アイデア出し

ToDoアプリ「Things」でも、アイデア出しは出来る。

ToDo管理のアプリなので、箇条書きで項目を出していく。

通常は一点ものだけ登録するが、ここではプロジェクト管理を使う。

プロジェクト管理では、テーマの下にToDo項目を入力していく。

このToDo項目に、どんどんアイデアを入力していくのだ。

とくに考える必要はない。

思いついたら事柄を即興で入れていく。

そうすると、自然にアイデアがまとまってくる感じになる。

使っていなかったアプリなので、思わぬ掘り出し物になってしまった。

同様なアプリなら同じようなアイデア出しに使えるだろう。  
Windows、Mac用のソフトでも出来ると思う。

## iPad

---

iPadをパソコンの代わりに使おうとする人は、購入したことを失敗します。

そのうち、中古パソコン屋に売り出すでしょう。

iPadの使い道がわかっているからこそ、有効に使えるのです。

iPadでやりたい事がわかっているならば、使えるアプリは必ずあります。

パソコンでやりたい事があっても、そういうソフトは出てこない。

そうして、購入したパソコンが陳腐化する人もいる。

iPadやiPhoneは、個人が使ってみたいアプリが次々と出てきます。

WindowsやMacは、カテゴリ別の決められたソフトウェアを出すのが、当たり前になっている。

。

iPadやiPhoneのほうが、個人が考えだした常識から外れたアプリが出てくる基盤がある。

そこが、iPad、iPhoneのよいところだと思う。

### 1. iPadの良いところ

#### リスニング

とにかく音がいい。

音楽を聴くなら、iPad。

PCとスピーカーから流れる音楽より、iPadで聴く音楽の方が非常に心地よい。

スピーカーの音はモノラルだが、しっかりとした音で、聞き応えがある。

特別、ステレオにしなくてもよい感じがします。

アプリがあれば、NASやMacの音楽を流したり、動画を見たりできる。

iPadに音楽を保存しておく必要がない。

お気に入りの音楽だけ入れておけば、容量の心配もない。

#### **FANTABIT**

曲を変換する時に、途切れてしまった高音域を再現してくれるアプリ。

MacFan 6月号で、紹介されてました。

CDの原音まで再現はしてくれないのだが、かなりの高音を出してくれる。

ただ、聞く曲を限定しなければいけない。

女性ボーカルならベストマッチングしてくれているが、オーケストラの楽器の細かなディテールまでうまくいかない。

なぜなら、高音域がカットされた楽器の音域を再現するため、楽器の音が震えてしまう。

いわゆる、ワウフラッターもどきが発生する。

また、ボーカルの低音の迫力が薄れた感じもする。

でも、聞き流すには問題ないし、良いアプリだと思う。

先ほどの感想は、イヤホンをつけた状態で聞いているので、iPadのようにスピーカーで聞くには、ぜんぜん気にならない。

アプリはiPhone用なので、iPhoneの方にはオススメである。

本当に、音の次元が変わると思います。

そして、音の広がりも顕著でわかります。

## 読書

電気を消して床につく。

読みかけの電子書籍、自炊本をひもといてからしばらくして、眠りにはいる。

スリープ設定（自動ロック）を15分にしておけば、自然に消灯。

iPadで節電が出来る。

自炊本は、かなり容量を無理しても入れておくべき。

部屋の中や外出先で、いつでも閲覧できる。

購入する電子書籍は、字が大きいためにiPhoneでも楽々読めるが、自炊本は字が小さく、iPadは拡大しなくても読めるところに利点あり。

iPadなら、単行本まで。

雑誌なら、Macで読む（モニター24インチ）のが今のところベスト環境だろう。

ほとんど読まない本は、MacまたはPCからUSBを利用して、フォルダーごと「GoodReader for USB」で転送した。

頻繁に読む本は、iBooksに登録。

パラパラと見るには、i文庫HDが便利で、見開きの設定変更もすぐできる。

こんな管理方法が、今のところベスト。

## 地図検索

とにかく、旅行で本領発揮。

地図の検索はもちろん、列車の時間も確認できる。

ご当地の情報やお土産も確認できる。

車なら、ナビになるだろう。

出張の時も、時刻表を再確認したり、到着時間や乗り換え前に検索しておける。

ブラウザのSafariは、タブ形式を採用しており、消さないまま残しておくことができる。

## 文書作成

iPhoneに比べ、同じ時間でもiPadの方が長文を入力できる。

これはかなりのメリットである。

両手を使えば、さらに速い。

ただ、日本語の予測変換が時々おかしくなることがある。

iPhoneでも、同様だ。

## 遠隔操作

Cloud Connect Pro

NASのライブラリをiPadを操作するだけで、ファイルが開ける。

Windows、Mac、Linuxのコンピューターを遠隔操作できる。

Windows、Mac、Linuxの共有フォルダのファイル管理ができる。

具体的には、

iTunesの曲を聴く。

NASの曲を聴く。

NASのPDF（自炊本）を開く。

など。

遠隔操作だけなら、ほかにも安いアプリがあります。

## ラジオ番組

radiko.jp

iPadは、バッテリー持続時間が長いため、音楽やラジオを流すのに都合が良い。

とくにradiko.jpで、ラジオを聞きながら床に就くと、いつのまにか寝入ってしまう。

タイマー設定もできるので、安心して朝までラジオを流しておける。

当時は、iPadの一番の活用法だった。

## 目標・信念

Paper by Fifty Three

スケッチブックに目標・信念を書く。

何気なく書いているようだが、生きる軸ををずらさず毎日が充実するかもしれない。  
暇な時は、スケッチブックに書くことが日課になりそうだ。  
手書きが、何となくカッコいい！

## FastBoardでiPadに転送

Macで作成したファイルをiPadへ送ることが出来る。  
iPad側では、任意のアプリで閲覧と編集が出来る。

FastBoard for MacとFastBoard for iPadを起動しておく。  
FastBoard for Mac のウィンドウ内のアイコン上へドラッグ&ドロップする。  
FastBoard for iPadに転送される。  
エディタとかの任意のアプリを選んで編集できる。

転送可能なファイル形式

- 画像ファイル(GIF, PNG, JPG, TIFF)
- 動画ファイル(m4v, mp4, mov)
- 音声ファイル(mp3, WAV, AIFF, AAC)
- PDFファイル
- テキストファイル
- リッチテキストフォーマットファイル
- iWorkドキュメントファイル(key, numbers, pages。ただし iWork'2009以上で作られたファイルに限る)
- Microsoft Officeドキュメントファイル (doc, docx, xls, xlsx, ppt, pptx)
- html ,htm
- URL
- iTunes リンク

これは便利です。

FastBoard for Mac 無料

FastBoard for iPad 450円

## ATOK Pad

キーボードの文字が標準のフォントではないので、打ちにくい。  
なればそうでもないのだが、最初の見た目がそうさせているのだろう。  
人間の記憶による錯覚だと思う。  
だから、最初はとっかかりにくいのだ。



## 2. 問題点

### iBooks管理

iPhoneでブック登録と削除を繰り返していると、iPadのブックが残ったまま消えない。

そんな時は、iTunesのブックを削除すればよい。

後日談で解決。

### リカバリーモード（復元）

iPadの同期がうまくいかないので、復元する事にした。

しかし、途中で止まってしまい、工場出荷状態にも戻らない。

何度も行っていると、途中で気づく事があった。

いつも、iOS5.1の途中で止まってしまう。

じつは、iTunesのライブラリはNASに設定してある。

NASをMacにジョイントするだけでは、ダメなのだ。

そこで、iTunesで音楽を再生しながら復元を実行した。

そうすると、復元の継続作業へ移行できるようになった。

よし！

ローカルディスクなら復元できるのは当たり前である。

しかし、NASや外付けHDDの場合は、ディスクに読み込み中の状態で復元をしなくてはならない。

そうだったのか。

今までの疑問がすべて吹っ飛んだ。

これでほっとした。

ならば、iPadの同期を取るときにエラーが出る場合、音楽再生中に同期すればよいことになる。

これは覚えておこう。

あとは、初期設定画面になるので、WiFiのパスワードを入れて、iCloudから復元すれば、完了。

そして、WiFi経由でアプリが順番にダウンロードされてゆく。

これは、かなり時間がかかる。

## 同期できない

復元したのはいいが、同期ができなくなっている。

転送がタイムアウトになり、iPadの内部エラーが出て、iTunesはフリーズする。

いろいろ試した結果、

**iTunes**を再インストール。

**USB**ケーブルを、純正ケーブルに変更。

以上の2点で改善した。

復元できなかったのも、この問題のためだったのだろう。

## 後日談

上記の改善を行ってから、それ以降問題は出ていない。

ケーブルにしる、Apple純正以外のアクセサリーを使う場合は、気をつけた方がよい。

ディスプレイケーブルが死んだとか、充電できないとか、いろいろ問題が出ている情報をたまに聞く。

安かろうだけで選ぶのは、要注意かなと・・・

## 音が出ない

いつのまにかiPadの音がでなくなっていた。

ミュージックでは音が出るのに、他のアプリでは音が出ないのだ。

ネットで調べてみると、設定で消音にしてからロックボタンを操作すると音が出なくなるようだ。

もう一度ロックボタン設定を消音にしてから、iPadを再起動させたり、アプリを立ち上げたりすると、いつのまにか音が出るようになっていた。

これで、ゲームも出来るようになった。

## 3. 結論

iPadは、ドキュメント類の作成と、書籍の閲覧に徹すればよい。

他にも使い道はすごくあるだろうが、現時点ではそれが一番良いと感じる。

iPhoneは、何でもできるオールラウンドプレイヤー。

iPadは、どこでも使えるノートパソコンと思えばよい。

この使い方が自分には一番あっていると思う。

もちろん、すべてを含めて最後の仕上げに使うマシンは、Macとなるだろう。

# ToDo 再構築

---

## 1. 目的

最適なToDoアプリとソフトを探している。  
これぞという最終兵器は、永遠に出てこないと思う。  
でも、ベストを目指して日々使いこなす。

## 2. ToDoの種類

### lino

付箋で管理。  
しかし、どうも付箋を使うのはしっくりこない。

iPhone ¥Free

iPad ¥Free

Mac Web版

Windows Web版

### Wunderlist

1行のタスクならこちらでも大丈夫。

iPhone ¥Free

iPad ¥Free

Mac ¥Free

Windows ¥Free

### ToDo

iCloud対応になり、接続が速くなるか。  
Mac用ToDo試用版（2週間）を入れる。  
試用版ではiCloudの同期は出来ないなので、とりあえずToodledoのアカウントを使用。

iPhone ¥450

iPad ¥450

Mac ¥1300

### Nozbe

MacとWindowsのデスクトップ版を入れてみました。

無料アカウントでは、5プロジェクト・コンテキストのようです。

有料アカウントをとることは考えていないので、このまま使用。

iPhone ¥450

iPad ¥1300

Mac ¥Free

Windows ¥Free

## OmniFocus

老舗だけあって使い勝手はいいんですけどね。

Mac用の値段が高いような気がして、まだ買っていません。

iPhone ¥1700

iPad ¥3450

Mac ¥6900

## Things

iCloud対応になってくれば、Mac版Thingsを即買いなんですけど。

iPhone ¥850

iPad ¥1700

Mac ¥4300

Cloud対応になったThings for Mac bata版が出たようだ。

iOS版も最新なら、設定をタップしてシェイクするとThings Cloudへ移行できる。

Bata Testingをオンにすると説明文が出てくる。

英語だけど、単語だけ追っかけていけば、操作は簡単だと思う。

あとは、Things Cloudで、メールとパスワードを設定すれば、完了。

iPhoneとiPadをCloud化すれば、すぐ同期できるようになる。

8/10

Thingsが、Things Cloudにて運用できるようになった。

App Storeにて、Mac用Thingsを4300円で購入した。

これで、MacBook AirとMac miniとiPhoneとiPadが完全に同期できるようになった。

当面は、ToDoを打ち込むのとアイデア出しに使っていこうと思う。

MacBook Airで使えるのは、かなりアドバンテージが高くなったように思う。

## Producteev

Mac、Windows、iPhone、Android、Google Appsがあります。  
紹介だけしておきます。

all ¥Free

## 2 Do

2DoとMacのカレンダー

2 DoのiPhone版とiPad版を買っていたのを忘れていました。

2 Doは、iCloud経由の同期ができ、両者ともiCloudで設定していたので、MacのカレンダーiCalに2 Doが表示されています。

わざわざアプリを買わなくても、もうすでにあるので、これで運用します。

機能面から見ても、他のアプリと比較しても遜色のないものに出来上がっています。

Macで運用する前は、2 Doを使っていた時期もあったし、GTDはできないようですが、これで大丈夫です。

2 Doで入力した内容は、同期させるとAppleのリマインダーに反映されますから、確認もしやすいです。

GTDの項目は、ウェブブラウザのiCloudカレンダーから、追加と修正ができるよう  
です。

次期Mac版ToDoの出現を待つ

## 1. 目的

**Pogoplug Mobile**を使って、パーソナルクラウドを構築する。

## 2. 設定

Pogoplug Mobile ヨドバシカメラで7,980円にて購入。

SDHC 32GB CLASS10 ドスパラで1,980円にて購入。

SDHC32GBには、Radikoデータを保存。

iPad、iPhone、MacBook Airで聞かつもり。

屋外と屋内で利用予定。

Pogoplug Mobile には、USB2.0端子一基とLAN端子とSDHC端子が装備されている。

バッファローのルーターに、Pogoplug Mobile をLAN接続し、常時接続する。

USB端子には外付けHDDを接続するが、常時ONにするつもりはない。

必要なときだけHDDを使うようにしたい。

HDDは、2.5インチHDDケースと新品または中古でHDDを買ってきて、運用する。

HDDには、ありきたりで動画と音楽を保存。

また、新たなファイルも思案中である。

2.5インチHDDケースは、Wake ON機能があれば便利だが、はたしてPogoplug Mobileでそれが機能するか疑問である。

Pogoplug Mobile にアクセスすると、勝手に電源が入る機能をWake ONという。

2.5インチHDDケースも、Wake ON機能があるものがあるかどうかもわからない。

それは、後日調べてみることにしよう。

でも、SDHC32GBだけで充分かもしれないから、あまり期待しない。

調べてみると、2.5インチHDDケースのWakeON Lan機能が付いているものはなかった。

市販のポータブルHDDを買った方が良さそうなので、近くの電気店で1TBを買った。

機種は、

LaCie 2.5インチHDD rikiki USB3.0 1TBで、価格は11,800円。

Amazonで買えば、3000円は得するが、まあいいだろう。

コンピューターにこれ以上お金をつぎ込みたくないの、ここらで打ち止めとしたい。

LaCieでは、Macと接続してもすぐ使えない。

まずセットアップソフトでフォーマットのセットアップをする。

Mac用とWindows用があるので、どちらでも出来る。

セットアップを進めると、容量確保の画面になった。

FAT領域とMacOS領域の間をスライドして容量が決められる。

ハイブリッドでもよかったのだが、ここはMac専用（100%）にする。

使用目的は、

MacBook Airのバックアップ領域として使う。（タイムマシーン）

MacBook Airの外付けハードディスクとして使う。（メイン）

Pogoplug MobileのUSBにつなぎ、パーソナルクラウドとして使う。（必要時のみ）

とりあえず、自炊本（60GB超）を転送する。

後は必要に応じて転送する。

これだけ用意すれば、MacBook Airはメインマシンと化する。

あとは、バッテリーの時間不足とSSDの容量不足だけだ。

また、Pogoplug Cloudが無料で5GBまるまる余っている。

ここには、ドキュメント類をおいておくつもりだ。



# iPad 4th WiFi Retina 16GB(4台) を寄贈

---

## 1. 目的

今回諸事情により、資産を得たのでiPad WiFiを4台寄贈する。

## 2. 設定

各1台ずつApple IDを取得するのは予算の都合上ムダなので、1つのApple IDで4台を運用する。

アプリは1台分買えば流用できるため、導入後はiCloudを切って使用しないこととする。個人持ちにする場合は、Apple IDを別途作成してもらう。

## 3. 実績

Apple TVも同時に導入。

一番役立ったのは、プレゼンテーションではなく、カラオケ大会であった。

YouTubeの曲やカラオケアプリが有効に使われた。

地図検索やWeb検索には問題なく使われている。

WindowsのWordドキュメントは、iPadでPageに変換できるがPageからWordに変換できない。

そこで、Documents To Go Premiumが850円で売られていたので、それを購入した。

これは、Wordが読み込みでき、メールでまたWindowsPCに送ることが出来る。

2013年には、Microsoft Office for iOSが出てくると思うので、そこまでの暫定対策。

PowerPointをKeynoteに変換すると、イメージが変わってしまう。

これはKeynoteで作成した方が良さそうだ。

Excel、通常使用でのnumbers変換は問題ない。

## iPad 4th WiFi Retina 64GB を購入

---

### 1. 目的

3G回線のiPad 2の買い換え。

### 2. 設定

3G回線から、Pocket WiFi LTEに移行した。

速さは全然違う。

### 3. 実績

iPad miniがあるので、出番が少なくなった。

# iPad mini WiFi 64GB を購入

---

## 1. 目的

電子書籍を気軽に電車内で読むために導入。

## 2. 設定

電子書籍

スケジュール

ToDo

ゲーム

## 3. 実績

iPad 9.7インチに比べて、バッテリーの減りが早いので頻繁に充電しなければいけない。  
アルミのユニボディでは冬場は冷たいので、ブックシェルフタイプのカバーを買った。

電子書籍を読みながらメモを取る動作が軽快で、1冊の書籍を短時間で読んでしまった。  
書籍は、Kindleアプリから購入し、Kindle様々であることに感謝する。  
Amazonが電子書籍を日本で立ち上げたことによる功績は高いと予測する。

単行本を読むのには、iPad miniが最適である。

iPhoneでは小さすぎるし、iPad 9.7インチでは重すぎる。

ScanSnapからのスキャンデータもiPad miniでは、読んでみたくなる。

用途は、

iPad mini・・・個人使用に限る

iPad 9.7インチ・・・他人にプレゼンテーションするとき

**ASUS nexus7 WiFi 16GB** を購入

---

## 電子書籍を入れるのは？

---

### iPadへの振り分け

Padに128GBモデルが発売されたが、今持っているiPadで運用する。  
今まで自炊した本の容量は、76GBであるから2台に振り分けする。

#### IPad 10インチ

雑誌系の本を入れる。

紙面がB5以上であるから。

#### iPad mini 7インチ

単行本系の本を入れる。

## iPadでの文字入力

---

### iPadでの文字入力

#### DayOne

iPad miniに対応していない。

画面のスクロールに制限があり、キーボードが邪魔をして長文が打ち込めない。

#### 長文入力

キーボードが大きいので、iPadの方で決まり。

電車の中では片手で持つことが多いため、iPad miniの方が有利だと思う。

ましてや軽いし。

だから、iPad miniは閲覧専用にした方が良さそうだ。

### 肘について本を読む

iPadを少し立てて読みやすい場所におく。

iPadの下に3センチほどの高さの物を置くとよい。

iPadの面が傾斜している方が読みやすいようである。

また、机の高さが少し低いようなので、机に肘をつくと体に負担がかかる。

肘の高さを調整するために、単行本2冊を置いて肘をついた方がよい。

机の高さ調整の為に台になるものを探してきたが、良い物は見つからなかった。

厚さ3センチの木の板が良いのだが、自作して作るしかない。

横幅85センチ×縦32センチ×厚さ3センチの板なんてない。

そこで、畳屋に電話して同じ大きさの物を作ってもらうことにした。

オーダーメイドで1万円くらいかかるそう。

厚さ3センチの木のチップを固めた物を切り出し、い草で畳に仕上げるといふ。

なんか良さそうなので注文することにした。

1週間以上かかるらしいので、気長に待つことにする。

畳を買う前にダイソーで板を買った。

400×300×6mmの板を10枚机の上に敷き詰め、机を30mm高くした。

首尾は上々、手高さは前よりは良くなり、入力のしやすさも向上した。

しかし、まだカラダは前のめりになるのであと30mm高い方がよさそう。

あとは、畳が来るのを待つだけである。

# Towns on Windows

---

## 1. 目的

Mac上で、仮想WindowsマシンからFM-Townsのエミュレーターである「うんづ」が起動し、Townsのソフトが動く事。

## 2. 実績

VMware Fusion 4から、Windows 7を起動して、「うんづ」が立ち上がる事は確認した。

### CD+G再生環境

VMware FusionのCD/DVD(IDE)設定を、MacのSuperDriveにしてCDをセットする。

「うんづ」起動時に、「カラオケの編集」から作成したCDイメージを読み込ませ、CDプレイヤーを起動する。

CD+GをONにしてCDを再生する。

1曲目の画像が出るが、音が出ない。

2曲目をクリックすると、CDの回転音がし始め、カラオケ画像が流れ出した。

成功！

ここまでは、Windows PC環境と同じところまで来た。

さらに、Mac miniのCDドライブを常時使うのは故障につながる。

さっそく、中古パーツ屋でCD/DVDコンボドライブを買ってきた。

USB 2本接続だが、USB給電ができてACアダプターは必要ない。

VMware FusionのCD/DVD(IDE)設定を、買ってきたUSBのCD/DVDドライブに変更した。

再生は、無事成功。

これで常時、Mac miniの上に置いておける。

ソフトウェアのインストールにも使えるだろう。

これで、980円はお買い得だ。

### CDイメージの読み込みができるか？

「うんづ」では、CD+Gのimg、ISOファイルが認識しなかった。

再生するのがCDプレイヤーであり、20年前の規格では仮想化を意識したプログラミングはされていないだろう。

しかし、ソフトウェアCDなら、再生可能ではないか。

Windows 7に「CD Manipulator」を解凍。

Townsではメジャーな「Free Software Collection 11」をイメージ化した。



VMware Fusionにimgファイルを読み込ませたが、「うんづ」ではフリーズした。

実物CDでしかエミュレートできない事がわかった。

当時のCD-ROM読み込み速度を維持しなければ、正常に動かないのだろう。

CD/DVDコンボドライブを買ってきたのは、正解だったようだ。

## Towns CD-ROM

FreewareCollectionをISO化してみる。

SuperDriveにマウントして使えるか？

ディスクユーティリティーで、cdr形式のイメージファイル作成。

拡張子をISOに変更。

VMware Fusionでは、CDを認識しなかった。

データCDとしても認識できない。

ISO9660のCD-ROMフォーマット形式では使えないのであろうか？

もしかして、ISO9660完全互換ではないCD-ROMなのだろうか。

とにかく、イメージファイルは、うんづでは使えないことがわかった。

実機CDドライブに挿入して運用するしかない。

これは、うんづ側とCD-ROMの問題なのだろうと考えた。

## 日本語キーボード環境

「うんづ」で、キーボードを日本語入力に切替え時、半角/全角キーを押すとおかしくなる現象があった。

JISキーボードの割り当て設定を、うんづ掲示板より流用した。

JISキーボードではOKだが、Appleキーボードは使えない。

キーボードの2種類を常に配置するのは、必須条件となった。

## Townsパッド環境